

福山平成大学の教育情報

【1】大学の教育研究上の目的 ＜各学科、研究科、専攻別＞	1
【2】教育研究上の基本組織 ＜基本組織＞＜学生数(退学・留年・就職・卒業)＞＜教育組織の運営＞	4
【3】教員数(学科別数・年齢別数・教員一覧・科学研究費応募状況)	8
【4】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ＜受入方針＞＜就職及び進学の状況(就職指導体制、就職状況、就職先、各種の資格)＞	1 5
【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画 ＜教育課程の編成方針＞	2 4
【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準	5 4
【7】校地、校舎等の施設及び設備その他教育研究環境に関すること	5 8
【8】授業料、入学料等(初年度分)	6 3
【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	6 4
【10】沿革	6 7
【11】産学官連携、社会貢献活動(公開講座)、大学連携、高大連携等	6 9

平成30年5月1日(火)

福山平成大学の教育情報

【1】大学の教育研究上の目的

本学は広島県東部に位置し福山市など近隣市町村等の協力を得て「公私協力方式」により設立された大学である。このため、本学は福山市を中心とした備後地域の発展に貢献する人材育成を第一の目的としている。

また、多種多様・多岐にわたる社会からの要請に対応し、本学の教育理念として、“建学の精神”や“大学の基本理念”は、“全人教育”、“心情と愛の教育”、“人間と自然を尊ぶ教育”及び“知行合一の教育”の4つに定められており、その理念は各学部各学科の教育方針に色濃く反映されている。

① 経営学部・経営学科

経営学部・経営学科は、“建学の精神”及び学則に定めるところに基づき、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門的知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

経営学科では“建学の精神”である全人格陶冶とともに、必要な経営学関係の専門知識だけではなく、経営における的確な状況判断能力や意思決定能力を身につけ、地域社会の発展に貢献できる即戦力としての“ビジネスパーソン”及び“産業人”を育成することを目標に、実学重視の教育を行っている。

② 福祉健康学部・福祉学科

福祉学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、福祉に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の幸福に貢献できる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的としている。このため教育課程は、社会福祉コースと介護福祉コースの二コースで展開され、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、そして保育士資格等を取得させることを目標とする。また、両コースに配当された科目や教育環境を相互に活用したり、両コース間の学生交流を通して、社会福祉領域に関する多様で総合的な学びを可能にする工夫が行われている。このような教育課程を通して、子どもから高齢者、障害者等すべての人々の健やかな生活を目指す人間福利（“ウェルビーイング（well-being）”）の理念に則り、豊かな人間性と総合的实践力を備えた人材を輩出し、地域貢献を行っている。このような人材育成に役立つ学生支援システムとして、大学と地域の社会福祉関係者等が連携して、実習教育やボランティア活動を行う体制を整えている。福祉の専門家として、福祉に関する“制度”とそこに“生きる人間”という複眼的で温かい視野を持つ人材養成にも積極的に取り組んでいる。

③ 福祉健康学部・こども学科

こども学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、乳児から児童までの子どもに対して一貫して支援・教育を行える保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を養成することを目的としている。

教育課程は、保育士資格及び幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状を取得できるように構成されている。理論と実践の両面から学びを深めるため、1年次から体験学習を行い、2年次の保育実習、3年次の幼稚園教育実習及び小学校教育実習、4年次における二度目の保育実習から総仕上げとしての教育実

実践演習へと段階的な学びを設定している。無理なく実践力を高めるとともに、4年間を通して大学で学ぶ理論・技術が実践の場でどのように活かされるのかを体得できるよう工夫されている。また、子どもの感性和創造力を育む国語教育や体育、音楽、図画工作などの表現教育にも力点を置いており、特にピアノ教育においては、入学前から始まり、4年間を通してピアノ教育を行っている。

④ 福祉健康学部・健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解するとともに、健康、スポーツ、教育に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及びスポーツ振興の担い手として寄与しうる豊かな人間性と総合的実践力を備えた人材を育成することを目的としている。

このため、教育課程は、スポーツに関する医科学系、健康科学系、心理学系、社会学系、教育学系、コーチング系などの分野の知識を系統的に広く学習する。また、学んだ知識の定着及び実践による確認の意味を含め、スポーツ実技や演習の教科を数多く開講し充実させている。開設当初は、中・高齢者を対象に健康の維持・増進を目的とする学科として出発したが、平成17(2005)年には中学校・高等学校教諭(保健体育)の教員免許が、また平成19(2007)年には養護教諭の教員免許が取得できるようになり、これに伴って、従来の教育カリキュラムに加え、教育実践指導力の拡充のための実技や実習、さらには演習形式による授業の強化が図られた。平成21(2009)年には、学科に所属する教員で構成される大学院スポーツ健康科学研究科が設置されることとなり、学科の教育課程を引き継ぎ、継続して高度な職業人を育成することが可能となっている。

⑤ 看護学部・看護学科

看護学部看護学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持ち、保健、医療及び看護に関する高度な専門的知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及び社会福祉に貢献することができる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

このため、教育課程は、看護師や保健師免許を取得することを目標に構成され、教育内容と効果的な教育方法を精選して進めている。看護学を“人がよりよく生きる”ために、また“あらゆる健康レベルに対して援助する”ために“人間”、“健康”、“環境”及び“看護”を主軸に据えている。また看護実践者、指導者、教育者または研究者を育成するために“人間と健康論”、“生活と環境論”、“看護活動論”及び“統合(総合)”領域の4本柱を相互に連動できるように構成している。

⑥ 助産学専攻科

助産学専攻科は、女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアが提供できる高度な専門知識と実践力を養い、女性の生涯を通じた健康支援ができる人材を養成する。また、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性と思いやりの心をもつ助産師を養成する。

大学院は、学術の理論及び応用を教授し、研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的として3つの研究科を設置している。

⑦ 大学院・経営学研究科

経営学研究科は、経営学分野の専門知識と先端的情報技術分野の専門知識を統合した高度な能力を身に付けた専門的職業人を育成するとともに、これに関する研究を行うことを目的とする。

経営学研究科は、経営情報学専攻のみで構成されており、経営学部経営学科の教育課程に連結された専攻となっている。授業科目は“経営学分野”、“情報学分野”、“経営情報学分野”及び“経営情報学演習”の4分野により構成され、より高度な知識を習得できるように学問体系に沿ってグループを分けて配置している。また学部教育の時代から高度な理論と知識が積み上げられるよう、経営学科と一貫した教育課程の教育方針と教育方法によって教育を行っている。

⑧ 大学院・スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、ヒトの健康・体力に関する科学をベースに、競技力向上にも及ぶ医学的、生理的、心理的、教育的メカニズムや反応などを追求する。子どもから高齢者の健康と体力づくりや限りある競技生活の中でいかに競技力を向上させることができるかを念頭においた教育・研究を行い、将来の研究者、教育者およびスポーツ指導者を養成する。

また、体育科教育学、養護教育学を通じて、実効性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導者を養成する。

⑨ 大学院・看護学研究科

看護学研究科は、少子超高齢社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々のQOL向上を目指し、生活者の視点で健康社会を支える人材を養成する。人間の尊厳とアドボカシー（advocacy）の志向に根ざし、看護活動の広範化・多様化に応じて、高いレベルの実践能力と倫理観を備え、根拠に基づいた看護を展開しつつ、研究成果を看護現場に還元することを目指す。また、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点を持った看護管理者、看護教育者、看護実践者を養成する。

【2】教育研究上の基本組織

本学の教育研究組織は福山平成大学組織図（図 2.1）に示すように、経営学部、福祉健康学部、看護学部の3つの学部、3つの研究科及び1つの専攻科で構成されている。また、附属図書館、大学教育センター、情報基盤センター、保健管理センター、留学生支援室及び事務局の教育研究支援組織がある。

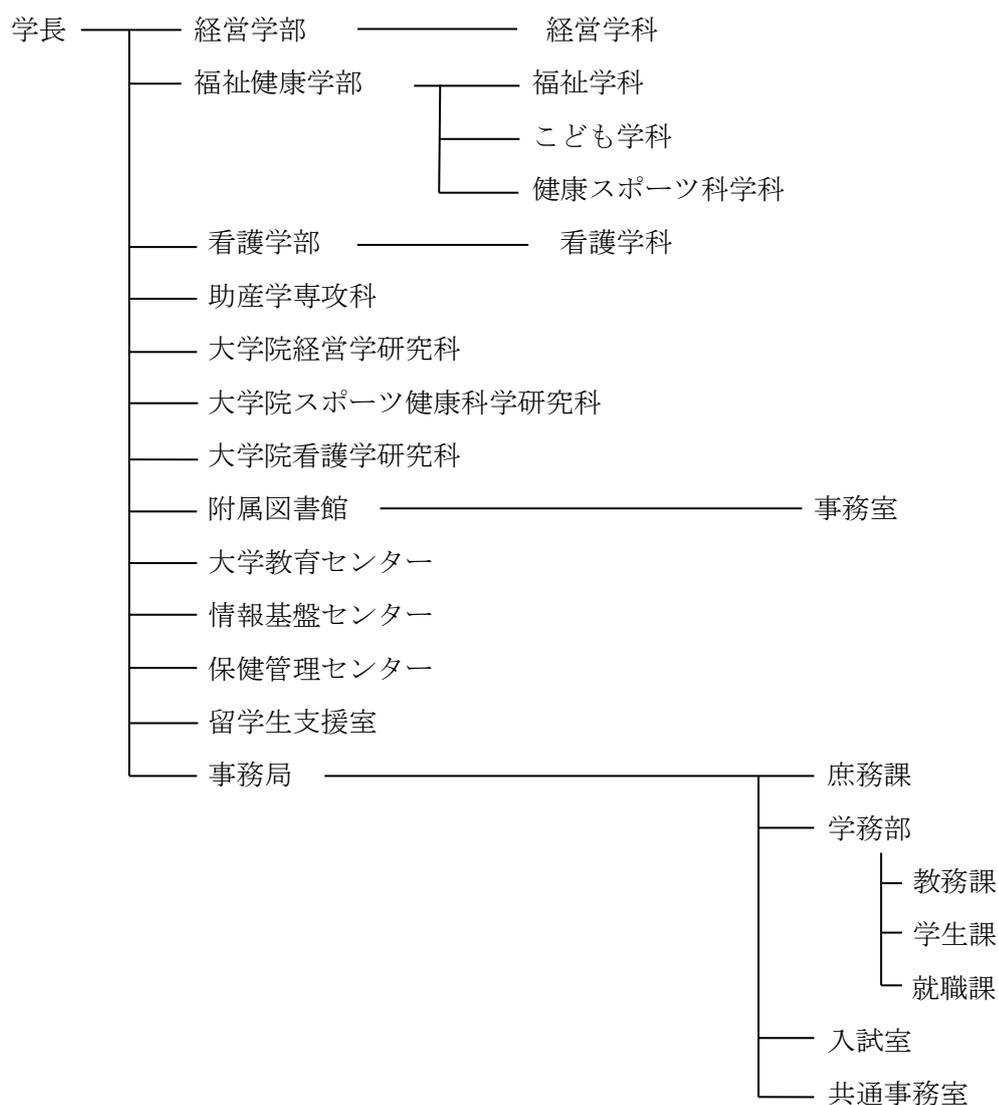


図 2.1 福山平成大学組織図

《学生数》

平成30年5月1日現在の福山平成大学の全学生数は、表2.1のとおり1,171人（学部生1,154人、院生8人、専攻生9人）である。（注）女子学生は608人で、全学生に占める女子学生比率は、52.0%である。

表2.1 学生定員及び在籍学生数（平成30年5月1日現在）（単：人）

学 部	学 科	入学定員	収容定員	学生数(留学生内数)						教 員 1人当り 学生数	収容定員 充足率
				入学 者数	在籍 総数	1年次	2年次	3年次	4年次		
経営	経営	50	200	34(1)	132(6)	34(1)	40(2)	29(1)	29(2)	8.8	66.0%
福祉健康	福祉	60	240	20	101	20	24	29	28	7.8	42.1%
	こども	50	200	47	166	47	47	37	35	13.8	83.0%
	健康スポーツ科	100	400	102	399	102	103	93	101	24.9	99.8%
	学部計	210	840	169	666	169	174	159	164	16.2	79.3%
看護	看護	80	320	90	356	91	94	90	81	12.3	111.3%
合計 [全平均]		340	1,360	293(1)	1154(6)	294(1)	308(2)	278(1)	274(2)	13.1	84.9%

（注）経営学部の「（）」は留学生で内数

（年度別学科別入学状況）

学 部	学 科	H 25 入学者	H 26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者
経営	経営	32	36	30	32	39	34
福祉健康	福祉	26	41	24	28	24	20
	こども	54	57	43	40	47	47
	健康スポーツ科	106	96	110	99	104	102
看護	看護	102	91	97	95	89	90
合 計		320	321	304	294	303	293

（年度別研究科別入学状況）

大学院・研究科	課程	入学定員	収容定員	入学者数	在籍生数	1年次	2年次	H26 入学者	H 27 入学者	H28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者
経営学	修士	5	10	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)
スポーツ健康科学	〃	5	10	2	4	2	2	1	2	0	2	2
看護学	〃	5	10	1	4	1	3	4	3	4	3	1
合 計		15	30	3(0)	8(0)	3(0)	5(0)	6(0)	6(1)	5(1)	5(0)	3(0)

（注）経営学研究科の「（）」は留学生で内数

（年度別専攻科入学状況）

専攻科	課程	入学定員	在籍生数	H26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者
助産学	1年	10	9	7	10	10	10	9

退学・除籍者数、退学率（平成 30 年 5 月 1 日現在）

学部	学科	退学・除籍者数				退学率（%）			
		H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
経営学部	経営学科	6	5	6	4	4.2%	4.1%	5.2%	3.1%
福祉健康学部	福祉学科	3	2	1	1	2.3%	1.7%	0.8%	0.8%
	こども学科	4	9	5	4	1.9%	4.6%	2.7%	2.3%
	健康スポーツ科学科	14	14	7	12	3.6%	3.5%	1.8%	3.0%
看護学部	看護学科	5	9	7	11	1.3%	2.3%	1.8%	3.1%
合 計		32	39	26	32	2.5%	3.2%	2.2%	2.7%

・退学率=(退学・除籍者数) / (各年学生数)

留年者数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

学部	学科	留年者数				留年率（%）			
		H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
経営学部	経営学科	4	4	1	2	2.8%	3.3%	0.9%	1.6%
福祉健康学部	福祉学科	1	0	0	1	0.8%	0%	0%	0.8%
	こども学科	0	0	1	2	0%	0%	0.6%	1.2%
	健康スポーツ科学科	18	6	6	6	4.6%	1.5%	1.5%	1.5%
看護学部	看護学科	5	8	12	9	1.3%	2.1%	3.2%	2.5%
合 計		32	28	20	20	2.5%	2.3%	1.7%	1.7%

留年率=(留年者数) / (各年学科学生数)

平成 29 年度卒業生数(学位授与者数)・進学者数・就職者数

	学部／研究科／専攻	学科／専攻	卒業生(卒業率)	進学者	その他	就職者
大 学	経営	経営	29(81%)	0	0	29
	福祉健康	福祉	41(100%)	1	3	37
		こども	52(91%)	0	3	49
		健康スポーツ科	91(95%)	4	5	82
	看護	看護	85(93%)	4	12	69
	合計		298(93%)	9	23	266
大学院	経営学	経営学	1(100%)	0	1	0
	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	0(0)	0	0	0
	看護学	看護学	4(100%)	0	0	4
	合計		5(83%)	0	1	4
専攻科	助産学		9(90%)	0	0	9

その他:教員志望、公務員志望他

《教育組織の運営》

本学は、学校法人福山大学の傘下で、教育研究の目的に沿って、それぞれの組織が相互に連携しながら図 2.2 のとおり運営されている。

大学全体の教育研究に関わる重要な問題については、評議会や部局長会において決定された基本方針に基づき、学部教授会、研究科委員会及び各種委員会において、その具体的な対応についての審議が行われ、学部長等連絡会議で議題として整理され、全学教授会の審議に付される、という流れになっている。また、教育研究に関する具体的な取組みは、教務委員会、学生委員会、入試委員会、就職委員会及び広報委員会等の委員会で十分検討され、各学科単位で組織されている学科会議において協議され、教員間での意思疎通が図られる体制となっている。

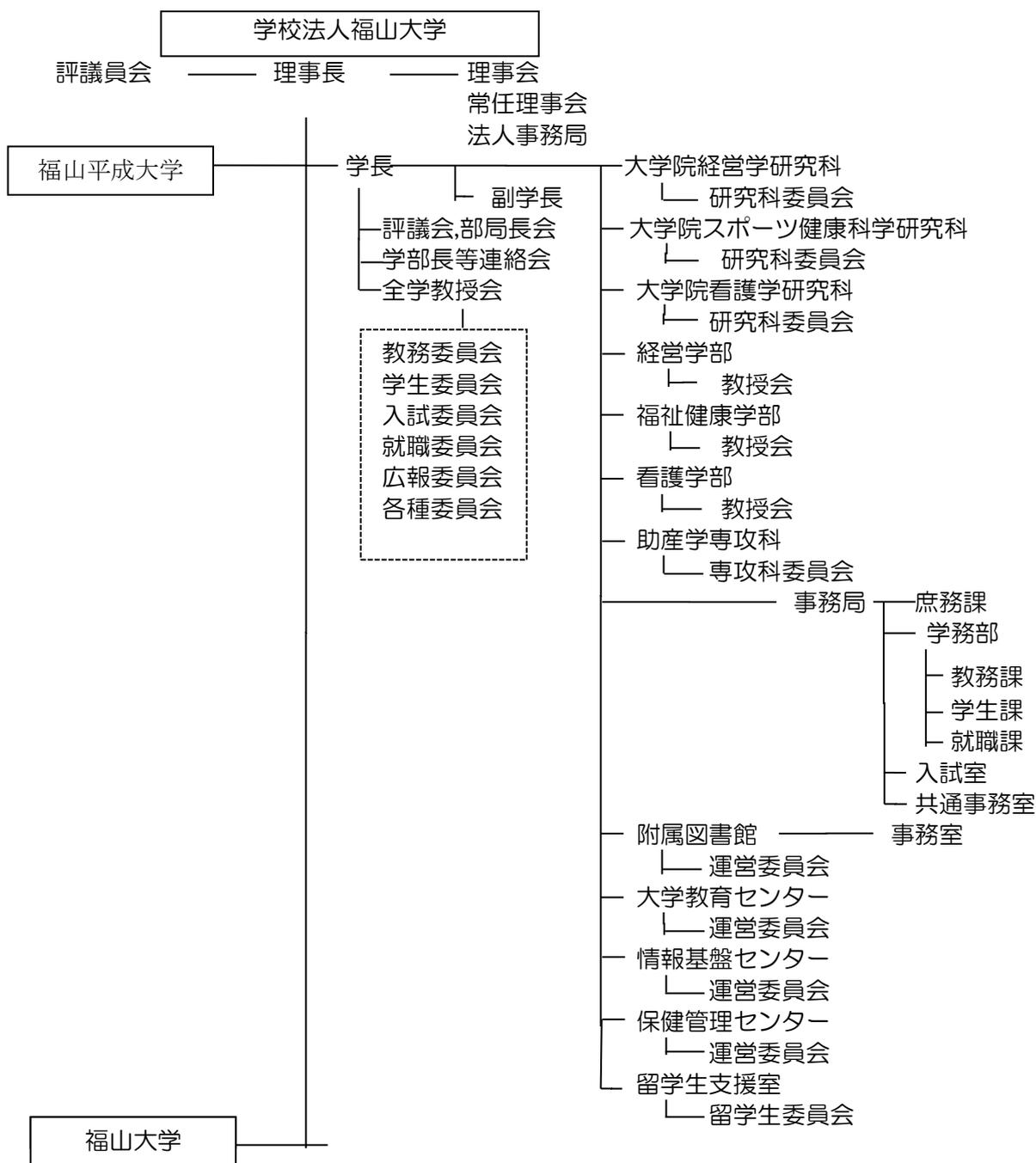


図 2.2 福山平成大学運営組織図

【3】教員数

専任教員 88 人(授業担当は 87 人)及び非常勤講師 80 人で授業(講義・演習・実習)を担当している。

表 3.1 平成 30 年 6 月 1 日現在の教員数

(単位:人)

学 科 名	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	専任計	非常勤 (特任)	備 考
学 長	1	-	-	-	-	1	-	<>の数字は、 大学院担当で 内数 ○の数字は、 女性教員で内 数 《》助産学兼担 []一般兼担
経営学科	9 <0> ①	2 <0>	3 <0>	1 ①	0	15 <0> ②	6 ②	
福祉学科	4 ②	7 ②	2 ①	0	0	13 ⑤	5 ③	
こども学科	4 ③	5 ②	3 ②	0	0	12 ⑦	12 (1) ⑧	
健康スポーツ科学科	6 <1>	5 <4> ①	4 <2>	1 ①	0	16 <7> ②	14 ⑥	
看護学科	7 <7> ⑥	7 <4> ⑤	8 <1> ⑧	4 ④	3 ③	29 <12> ②⑥	21 (2) ⑭	
助産学専攻	《2》	《0》	《2》	《1》	《0》	《5》	7	
大学教育センター				1	1 ①	2 ①	-	
一般教養科目	[6]	[2]	[6]	[1]	[0]	[15]	15 ④	
計	31 <8> ⑫	26 <4> ⑩	20 <3> ⑪	7 <0> ⑥	4 <0> ④	88 <15> ④③	80 (3) ③⑦	168 <15> (3) ⑧⑩

(注)専任教員に占める女性教員比率は、53.4%である。

(専任教員年齢別教員数)(年齢は平成 30 年 5 月 1 日現在)

学科	29 歳以下	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	合計
学長	0	0	0	0	0	1	0	1
経営学科	1	1	4	4	4	1	0	15
福祉学科	0	1	6	4	2	0	0	13
こども学科	0	5	2	3	0	2	0	12
健康スポーツ科学科	1	3	4	3	2	3	0	16
看護学科	0	3	7	11	4	3	1	29
大学教育センター	0	0	2	0	0	0	0	2
計	2	13	25	25	12	10	1	88

表 3.2 教員の一覧(各教員の研究業績は、本学ホームページ(研究者一覧)をご検索ください。)

[学位] 【専門分野】担当科目		[修士(医療福祉学)]		[教育学修士]		[修士(看護学)]	
学長	坪井 始 [工学博士]	藤井 宏明 [修士(医療福祉学)]	【介護福祉】介護技術	磨井 祥夫 [教育学修士]	【身体運動科学】身体運動解析学	伊東 美佳 [修士(看護学)]	【基礎看護学】治療援助学
経営学部							
経営学科							
副学長	川久保 和雄 [工学修士]	伊藤 泰三 [修士(社会福祉学)]	【社会保障】社会保障論	入澤 雅典 [教育学修士]	【スポーツ生理学】臨床指導実践演習(遠泳)	曾根 清美 [修士(人間学)]	【老年看護学】リスクマネジメント・老年看護援助学
学部長	教授	中嶋 裕子 [修士(学術)]	【精神保健福祉】理論と相談援助	上村 崇 [博士(文学)]	【倫理学】道德教育	齋藤 公彦 [修士(看護学)]	【公衆衛生看護学】保健医療福祉行政論
学科長	小玉 一樹 [博士(マネジメント)]	岡部 真智子 [博士(社会福祉学)]	【社会福祉】社会福祉論	准教授	中村 雅子 [修士(看護学)]	講師	加地 みゆき [修士(看護学)]
	【人的資源管理論】経営学総論	杉本 浩章 [博士(臨床マネジメント)]	【社会福祉】地域福祉論		【養護教育学】養護概説		【成人看護学】成人看護援助学
	渡辺 清美 [博士(教育学)]	講師	崔 銀珠 [博士(社会福祉学)]		三宅 幸信 [修士(教育学)]		藤井 小夜子 [修士(看護学)]
	【英語教育】英語		【社会福祉】社会福祉援助技術現場実習		【保健体育科教育学】保健体育科教育法Ⅰ		【成人看護学】成人看護援助学
	福井 正康 [工学博士]		牛田 篤 [修士(社会福祉学)]		松田 広 [修士(スポーツ科学)]		福田 久仁子 [修士(看護学)]
	【社会システム分析】統計		【介護福祉】介護概論		【保健体育科教育学】保健体育科教育法Ⅱ		【精神看護学】精神看護援助学・精神看護学実習
	佐藤 幹 [博士(マネジメント)]	福祉健康学部					
	【管理会計】原価計算	こども学科					
	市瀬 信子 [文学修士]	学部長	永井 純子 [博士(学校教育学)]	講師	松井 弘志 [修士(スポーツ健康学)]		藤原 弘子 [修士(看護学)]
	【中国文学】中国語	教授	【健康教育学】保健体育科教育学特講		【コーチング学】バレーボール		【助産学・母性看護学】母性看護援助学
	佐藤 真司 [工学士]	学科長	山崎 洋子 [博士(学術)]		若井 研治 [修士(スポーツ健康学)]		大元 雅代 [修士(看護学)]
	【教育工学】情報ネットワーク		【教育学】教育原理		【コーチング学】サッカー		【在宅看護学】在宅看護援助論・在宅看護学実習
	江口 圭一 [博士(マネジメント)]		田辺 尚子 [MAFLT]		河野 洋 [博士(スポーツ健康学)]		内田 史江 [修士(看護学)]
	【産業・組織心理学】組織行動論		【英語教育学】初等外国語科教育法		【スポーツ社会学】スポーツ原論		【基礎看護学】生活援助学・看護学教育論
	芝田 全弘 [修士(経営学)]		三藤 恭弘 [博士(教育学)]		藤本 太陽 [博士(体育科学)]	助教	樋口 雪子 [学士(教養学)]
	【財務会計】会計学原理		【初等外国語科教育】初等教科教育法(国語)		【スポーツ心理学】メンタルトレーニング方法論		【助産学・母性看護学】母性看護・助産学実習
准教授	堀越 昌和 [博士(経営学)]	准教授	池田 明子 [修士(教育学)]	助教	石井 智紋 [修士(スポーツ健康学)]		村岡 江里 [修士(看護学)]
	【中小企業経営論】企業倫理		【幼児教育】保健内容総論		【健康科学】スポーツ実践演習(トレーニング)		【老年看護学】老年看護援助学
	尾崎 誠 [博士(工学)]		西川 京子 [博士(教育学)]		看護学部		
	【教育工学】情報入門		【社会科教育】初等教科教育法(社会)		看護学科		
講師	岩本 敏裕 [博士(経営学)]		中原 大介 [修士(社会学)]	学部長	木宮 高代 [修士(看護学)]	助手	廣田 明美
	【経営戦略論】経営戦略論		【対人援助】家庭支援論	学科学長	【老年看護学】高齢健康科学・災害看護論		【基礎看護学】基礎看護学実習
	渡邊 正樹 [修士(商学)]		伊藤 憲孝 [修士(音楽)]	教授	才野原 照子 [修士(人間科学)]		生藤 仁美
	【商学】流通論		【音楽】ピアノⅠ		【基礎看護学】基礎看護学		【老年看護学】老年看護学実習
	本田 良平 [修士(文学)]		田中 宏和 [博士(法学)]		安達 直子 [修士(看護学)]		山内 紀代美
	【アメリカ文学】英会話		【法学】憲法		【小児看護学】子どもの成長と健康		【成人看護学】成人看護学実習
助教	兔内 祥子 [修士(経営学)]	講師	相田 敏孝 [修士(教育学)]		齋藤 智江 [修士(保健科学)]		【公衆衛生看護学】公衆衛生看護技術論
	【マーケティング】マーケティング		【算数・数学教育】初等算数Ⅰ		【成人看護学】成人看護学概論		
福祉健康学部							
福祉学科							
学科長	大中 章 [文学修士]		上田 紋佳 [博士(学術)]		志村 千鶴子 [博士(医科学)]		
教授	【カウンセリング】精神保健福祉援助実習指導		【教育心理学】教育心理学		【助産学・母性看護学】母性看護援助学		
	中尾 治子 [修士(文学)]		吉井 鮎美 [修士(障害科学)]		井上 徹 [博士(医学)]		
	【介護福祉】ここからだのしくみ		【障害科学】乳児保育		【基礎医学】身体のしくみ、看護と病態		
	向井 通郎 [博士(社会福祉学)]		福祉健康学部				
	【社会福祉】障害者福祉論		健康スポーツ科学科				
	中司 登志美 [修士(学術)]	学科長	石橋 勇 [修士(社会学)]	学部長	木宮 高代 [修士(看護学)]	助教	細川 光浩 [修士(経営情報学)]
	【介護福祉】認知症の理解		【コンディショニング科学】臨床スポーツ医学	教授	【老年看護学】高齢健康科学・災害看護論		【情報処理教育】データベース
准教授	大深 俊明 [修士(社会福祉学)]	教授	楠本 恭久 [文学修士]		才野原 照子 [修士(人間科学)]		【老年看護学】老年看護学実習
	【社会福祉】児童福祉論		【スポーツ心理学】スポーツカウンセリング		【基礎看護学】基礎看護学		山内 紀代美
	浅井 智雄 [博士(教育学)]		沖増 英治 [医療博士]		安達 直子 [修士(看護学)]		【成人看護学】成人看護学実習
	【英語教育】英語		【生命科学】基礎生理学		【小児看護学】子どもの成長と健康		
大学教育センター							
					准教授	池田 石雄 [修士(看護学)]	
						【精神看護学】心のケア	
						岡 和子 [修士(社会福祉学)]	
						【基礎看護学】看護科教育法Ⅰ・Ⅱ	
						長野 扶佐美 [修士(看護学)]	
						【公衆衛生看護学】公衆衛生看護管理論	
						藤田 晶子 [修士(看護学)]	
						【在宅看護学】在宅看護論	

経営学部	福祉学科健康学部			看護学部
経営学科	福祉学科	こども学科	健康スポーツ科学科	看護学科

職名	氏名	ふりがな	
学長	坪井 始	つばい はじめ	選択
副学長	川久保 和雄	かわくぼ かずお	選択

経営学部・経営学科				
	職名	氏名	ふりがな	Database
学部長	教授	川久保 和雄	かわくぼ かずお	選択
学科長	教授	小玉 一樹	こだま かずき	選択
	教授	渡辺 清美	わたなべ きよみ	選択
	教授	福井 正康	ふくい まさやす	選択
	教授	佐藤 幹	さとう つよし	選択
	教授	市瀬 信子	いちのせ のぶこ	選択
	教授	佐藤 真司	さとう しんじ	選択
	教授	江口 圭一	えぐち けいいち	選択
	教授	芝田 全弘	しばた ぜんこう	選択
	准教授	堀越 昌和	ほりこし まさかず	選択
	准教授	尾崎 誠	おざき まこと	選択
	講師	岩本 敏裕	いわもと としひろ	選択
	講師	渡邊 正樹	わたなべ まさき	選択
	講師	本田 良平	ほんだ りょうへい	選択
	助教	細川 光浩	ほそかわ みつひろ	選択
	助教	兔内 祥子	とない しょうこ	選択
	助手	奥田 由紀恵	おくだ ゆきえ	選択

福祉健康学部・福祉学科				
	職名	氏名	ふりがな	Database
学科長	教授	大中 章	おおなか あきら	選択
	教授	中尾 治子	なかお はるこ	選択
	教授	向井 通郎	むかい みちお	選択
	教授	中司 登志美	なかつかさ としみ	選択
	准教授	大深 俊明	おおふか としあき	選択

准教授	浅井	智雄	あさい	ともお	選択
准教授	藤井	宏明	ふじい	ひろあき	選択
准教授	伊藤	泰三	いとう	たいそう	選択
准教授	中嶋	裕子	なかじま	ひろこ	選択
准教授	岡部	真智子	おかべ	まちこ	選択
准教授	杉本	浩章	すぎもと	ひろあき	選択
講師	崔	銀珠	ちえ	うんじゅ	選択
講師	牛田	篤	うしだ	あつし	選択

福祉健康学部・こども学科

	職名	氏名	ふりがな	Database
学部長	教授	永井 純子	ながい じゅんこ	選択
学科長	教授	山崎 洋子	やまさき ようこ	選択
	教授	田辺 尚子	たなべ なおこ	選択
	教授	三藤 恭弘	みとう やすひろ	選択
	准教授	池田 明子	いけだ あきこ	選択
	准教授	西川 京子	にしかわ きょうこ	選択
	准教授	中原 大介	なかはら だいすけ	選択
	准教授	伊藤 憲孝	いとう のりたか	選択
	准教授	田中 宏和	たなか ひろかず	選択
	講師	相田 紘孝	あいだ ひろたか	選択
	講師	上田 紋佳	うえだ あやか	
	講師	吉井 鮎美	よしい あゆみ	選択

福祉健康学部・健康スポーツ科学科

	職名	氏名	ふりがな	Database
学科長	教授	石橋 勇	いしばし つよし	選択
	教授	楠本 恭久	くすもと やすひさ	選択
	教授	沖増 英治	おきます えいじ	選択
	教授	磨井 祥夫	うすい さちお	選択
	教授	入澤 雅典	いりざわ まさのり	選択
	教授	上村 崇	うえむら たかし	選択
	准教授	中村 雅子	なかむら まさこ	選択
	潤教授	三宅 幸信	みやけ ゆきのぶ	選択
	准教授	松田 広	まつだ ひろし	選択
	准教授	森澤 桂	もりさわ けい	選択

准教授	高本 健彦	たかもと たけひこ	選択
講師	松井 弘志	まつい ひろし	選択
講師	若井 研治	わかい けんじ	選択
講師	河野 洋	こうの よう	選択
講師	藤本 太陽	ふじもと たいよう	選択
助教	石井 智紋	いしい ちあき	選択

看護学部・看護学科

	職名	氏名	ふりがな	Database
学部長・学科長	教授	木宮 高代	きみや たかよ	選択
	教授	才野原 照子	さいのはら てるこ	選択
	教授	安達 直子	あだち なおこ	選択
	教授	齋藤 智江	さいとう ちえ	選択
	教授	志村 千鶴子	しむら ちづこ	選択
	教授	井上 徹	いのうえ てつ	選択
	教授	若井 和子	わかい かずこ	選択
	准教授	池田 石雄	いけだ いしお	選択
	准教授	岡 和子	おか かずこ	選択
	准教授	長野 扶佐美	ながの ふさみ	選択
	准教授	藤田 晶子	ふじた あきこ	選択
	潤教授	伊東 美佳	いとう みか	選択
	准教授	曾根 清美	そね きよみ	選択
	准教授	齋藤 公彦	さいとう ともひこ	選択
	講師	加地 みゆき	かじ みゆき	選択
	講師	藤井 小夜子	ふじい さよこ	選択
	講師	福田 久仁子	ふくだ くにこ	選択
	講師	山崎 晶子	やまさき あきこ	選択
	講師	佐竹 潤子	さたけ じゅんこ	選択
	講師	藤原 弘子	ふじわら ひろこ	選択
	講師	大元 雅代	おおもと まさよ	選択
	講師	内田 史江	うちだ ふみえ	選択
	助教	樋口 雪子	ひぐち ゆきこ	選択
	助教	村岡 江里	むらおか えり	選択
	助教	木場 しのぶ	こば しのぶ	選択
	助教	笹木 佳子	ささき よしこ	選択

助手	廣田 明美	ひろた あけみ	選択
助手	生藤 仁美	いきとう ひとみ	選択
助手	山内 紀代美	やまうち きよみ	選択

科学研究費応募状況(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)

○ 研究代表者

採択年	所属	職名	氏名	研究種目	研究課題名
平成 26 年度	経営	教授	市瀬 信子	基盤研究(C)	乾隆時代における、移動する杭州詩人集団の変質と展開に関する研究
平成 26 年度	看護	教授	若井 和子	挑戦的萌芽研究	ポータルサイトを活用した親子で学ぶ性教育プログラムの開発
平成 27 年度	経営	講師	徐 恩之	若手研究(B)	企業ブランド管理における社内メンバー間の認識不一致に関する研究
平成 27 年度	健康スポーツ	教授	上村 崇	挑戦的萌芽研究	「偏向報道・極化」問題における実証的研究と倫理学的研究の統合的把握
平成 27 年度	健康スポーツ	講師	中須賀 巧	若手研究(B)	体育授業における動機づけ雰囲気の教育効果に関する縦断研究—生きる力に着目して—
平成 28 年度	経営	講師	朝日 亮太	若手研究(B)	合併が低費用航空会社に与える影響に関する実証的研究
平成 28 年度	健康スポーツ	講師	大橋 充典	若手研究(B)	ブログにおけるスポーツのメディア言説に関する研究
平成 28 年度	看護	講師	佐竹 潤子	挑戦的萌芽研究	子どもの夜間受診の現状と親の対処能力
平成 29 年度	経営	教授	市瀬 信子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における杭州詩人集団の詩会活動と地方文献編纂に関する研究
平成 29 年度	経営	教授	小玉 一樹	基盤研究(C)	雇用形態の多様化が集団及び組織に及ぼす影響に関する研究
平成 29 年度	福祉	准教授	岡部 真智子	基盤研究(C)	地域包括ケアシステム下における高齢者向け居住支援の方策
平成 29 年度	福祉	准教授	杉本 浩章	基盤研究(C)	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働
平成 29 年度	こども	教授	山崎 洋子	基盤研究(C)	イギリス新教育における「女子・女性教育論」とジェンダーに関する思想史的研究
平成 29 年度	こども	講師	上田 紋佳	若手研究(B)	不安認知における長期記憶の効率性とワーキングメモリの柔軟性の不均衡仮説の検討

② 応募・採択件数

年	研究種目	応募件数	採択(継続)件数
平成 26 年度	基盤研究(C)	12	1
	挑戦的萌芽研究	3	1
	若手研究(B)	5	0
	スタート支援	2	0
	計	22	2
平成 27 年度	基盤研究(C)	12	0
	挑戦的萌芽研究	4	1
	若手研究(B)	7	2
	スタート支援	2	0
	計	25	3
平成 28 年度	基盤研究(C)	13	0
	挑戦的萌芽研究	5	1
	若手研究(B)	8	2
	スタート支援	1	0
	計	27	3
平成 29 年度	基盤研究(C)	17	5
	挑戦的萌芽研究	10	0
	若手研究(B)	3	0
	スタート支援	1	0
	計	31	5
平成 30 年度	基盤研究(C)	16	5
	基盤研究(C) (特設分野研究)	1	0
	挑戦的萌芽研究	8	0

	若手研究(B)	10	1
	研究成果公開促進	2	0
	スタート支援	0	0
	計	37	6

【4】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況

<受入方針>

本学の“建学の精神”には、「大学は、真理を探求し道理を实践する勇氣ある若人、生命を尊び他人を敬い自らの郷土・社会・国家を愛し、進んで世界を愛することのできる視野の広い若人を期待し、歓迎する。本学は、未来を志向する無垢な若人に明日の希望を託し、明るい未来の礎を築くため、人材養成を主眼とする。」と記されている。また、“知行合一”を教育理念の一つとして、社会のニーズに沿った理論と応用的技術能力を備えた社会人の養成を主眼とし、本学の3学部5学科の全てにおいては実社会で即戦力となることを目指すとともに、各種の資格が取得できるように教育課程上の工夫をしている。

また、本学は、時代の変化に対応できる知識と技術に裏付けられた「総合的な問題解決能力」を身につけ、幅広い視野のもとで自分の責任で考え、選択し行動できる人、即ち、これからの社会で活躍できる人材を育成する。本学ではこの目標の実現に向けて、次のような人の入学を期待している。

- 自ら学び、自ら考え未来を切り拓く意欲がある人
- 自己実現に向かって目的意識をもち、継続して努力ができる人
- 実社会で即戦力となることを目標にして、積極的に取り組みができる人

(経営学部・経営学科)

経営学科は、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を目的としています。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、情報化やグローバル化への対応など時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受入れます。

- 高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的を持って主体的に学生生活を送ろうという意欲を持っている人。
- 現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういった問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人。

- 将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人。

(福祉健康学部・福祉学科)

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

福祉学科では、「共感と共生」を基本にした福祉（ウェルビーイング）の理念を柱に、共感の心・自立の支援・共生を可能にする福祉のプロフェッショナルの養成を目指す。福祉施設等の実習をとおして専門知識と実務能力を備えた人材を育成する。そのため、次のような意欲と熱意をもった人の入学を期待する。

1. 社会福祉及び関連分野に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意志をもつ人。
2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力や倫理観を高めるための自己学修に意欲のある人。
3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践能力を高めるための行動ができる人。
4. 人の幸せを進んで支援することに生き甲斐を感じることでできる人。

(福祉健康学部・こども学科)

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

こども学科では、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を主な目的にしています。具体的には、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出し、子どもを取り巻く社会状況の変化に対することができると人材を育成します。そのため、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 保育士・教育者としての素養を身につけようとし、自ら知識を得ようとする人。
2. 発達と学習を促進する支援と指導の力をつけようとする人。
3. より良い地域・社会の創出に取り組もうとする人。

(福祉健康学部・健康スポーツ科学科)

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図ります。更に「健康」「スポーツ」「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者の人材を育成します。そのため、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人。
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人。
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人。

(看護学部・看護学科)

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

「人間」・「健康」・「環境」・「看護」の4つのコンセプトを柱に将来の看護実践者・指導者・教育者としての人材を育成します。看護学科では、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊重することのできる人。
2. 保健・医療・看護・福祉分野に大きな夢と関心をもっている人で、物事に対して積極的に取り組む姿勢をもっている人。
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、コミュニケーションが取れる人。
4. 社会の一員としての自覚と倫理観をもち、人の役に立ちたいと思っている人。
5. 多様な価値観と異なる文化を理解し国際的視野で物事を考えることができる人。

<専攻科>

(助産学専攻科)

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

高度な専門知識と実践能力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成します。助産学専攻科では、次のような女性を積極的に受け入れます。

1. 母性看護学に関心をもち、学び自己研鑽することができる人。
2. 母性看護の対象である全ての年代の女性の母性を健全に育成する役割を果たすことができる人。
3. 豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性をもつ人。
4. 将来、助産師として地域に貢献することができる人。

<大学院>

(経営学研究科 経営情報学専攻(修士課程))

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

現代の社会・経済・経営環境は、変化が激しくかつ不確実です。そうした中で、グローバル化とともにICT(情報通信技術)が高度な発展をみせています。経営学研究科経営情報学専攻は、そうした社会・経済・経営環境に対応する、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、高度で豊かな学識と専門的調査研究能力を身につけた研究者、あるいは専門職業人を養成することを目的に掲げています。この目的を達成するために、学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を以下のとおり定め、広く国内外から学生を受け入れます。

1. 経営学、経営情報学に強い関心をもち、本専攻で学ぶために必要な学力を有し、自主的に研究する意欲のある人。
2. 経営学、経営情報学に関する専門知識と実践力を身につけ、研究者または専門職業人、あるいは地域社会の一員として活躍しようとする人。
3. 経営学、経営情報学を学際的に研究し、多角的視点から思考できる専門知識を身につけ、研究者または専門職業人、あるいは地域社会の一員として活躍しようとする人。

(スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻(修士課程))

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

本研究科では、個人の健康・体力を科学し、生理メカニズムを追求するカリキュラム構成で、身体活動を中心とした医学的・心理的・生理的メカニズムの研究を行い、専門分野の知識を極めた将来の教育指導者を養成します。

大学院スポーツ健康科学研究では、医学、生理学、心理学、そして教育学など、健康科学や体力科学に関する学術基盤を背景に、子どもから中・高齢者にわたる健康と体力づくり、各種スポーツの競技力向上を念頭にいた教育・研究を行っています。将来、健康とスポーツを大きく牽引する研究者、教育者および指導者を養成することを目的とし、この目的を達成するため、下記に示すアドミッション・ポリシーを明示しています。

近年、健康とスポーツに求められる価値は多様化の一途をたどり、身体活動を媒介するところでは共通するものの、その運動実践に対する意味や価値創出の背景には閉塞感が蔓延しています。このような時代にこそ、新しい発想や着眼点から、独創的な試みや挑戦をしようとする人材が求められています。そこで、スポーツ健康科学研究科では、下記のような明確な目標をもった人材を求めます。

1. 健康とスポーツ、そして教育分野で活躍する具体的な将来ビジョンを有している人。
2. 仮説-検証プロセスに基づき、健康やスポーツ文化・活動を科学的に分析したいと希望する人。
3. これまでにない新しい価値の創造や可能性に挑戦したいという意志を有している人。

（看護学研究科 看護学専攻（修士課程））

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

看護・医療の進歩と共に、専門知識の深化及び看護管理のために研究能力を高めることが、看護の実践現場には求められています。その要求に応えるため、看護管理者としてのマネジメント能力ならびにリーダーシップ能力を併せ持つ人材を育成する。

1. 看護学および保健医療福祉領域における研究に意欲を持つ人。
2. 健康問題を幅広い視野で総合的に捉え、新しい分野の開拓や理論の創出に意欲を持つ人。
3. 看護管理学・看護学教育領域および地域健康看護学領域の研究に自ら積極的に取り組み、社会に貢献する意欲を持つ人。

<在学者数>

平成30年5月1日現在の福山平成大学の在学者数は、表2.1及び下記に示すとおり1,154人である。なお、平成25年度からは、学部の収容定員が1,410人から1,360人に変更になった。

学部（学科）	志願者		入学者		在学者数 (学科内訳)
	学部計	学科内訳	学部計	学科内訳	
経営学部（経営学科）	100人	100人	34人	34人	132人
福祉健康学部	286人		169人		
（福祉学科）		49人		20人	101人
（こども学科）		85人		47人	166人
（健康スポーツ科学科）		152人		102人	399人
看護学部（看護学科）	260人	90人	260人	90人	356人
合計	646人		293人		1154人

<社会人学生数>

社会人受け入れの為の入試制度は、実施していません。

<就職及び進学状況>

1) 就職指導体制

本学は開学以来「社会に貢献できる有為な人材」の育成に力を注ぐとともに、学生へのキャリア教育及び就職指導に全教職員が一丸となって、しかも、きめ細かく取り組み、毎年 100%近い内定率を達成してきました。とりわけ、平成 29 年度は、目標とする 100%をついに達成しました！

このような結果が得られた背景を具体的に見ると、次のような体制で学生へのキャリア教育及び就職指導に当たっていることが、おわかりいただけると思います。

① 就職委員会を全学機関として設置しています。その構成は、各学科の就職委員によります。就職委員会は本学の就職指導方針及び指導方法を検討し、その決定に基づき全学的な取り組みを行っています。

② 具体的なキャリア教育及び就職指導はこの指導方針に基き、各学科のクラス担任を中心にして、それぞれの学科の教員が全体として、一人ひとりの学生の希望及び能力・適性等に応じた指導を行っています。

なお、個々の学生の進路希望、指導内容、本人の適性、就活の進捗状況及び内定結果等の情報は、学生総合支援システム（ゼルコバ）の『WEB 就職支援』へ登録することができます。このシステムへ学生、教員、就職課のそれぞれが入力することにより、クラス担任を含めた学科の教員と就職課との間で、情報の共有化及びその有効活用が可能となり、学生への就職支援を、より効果的なものにしていきます。

③ 就職課の機能としては、キャリア教育及び就職情報の収集・提供、また、それに基づいた 3 年生を中心とした就職ガイダンスの実施、4 年生への就職セミナー、学生への就職相談への対応、エントリーシート等の就職応募書類の作成指導、面接指導等が挙げられます。

これらのことが円滑に機能するためには、各学科の就職委員や各クラス担任との日常で緊密な連携が欠かせません。それを、より効果的にするために、②で取り上げた学生総合支援システム（ゼルコバ）があります。それに加えて、ジョブサポーター及びキャリアカウンセラーによる、学生への個別相談などの指導体制があります。

④ ③で取り上げた 3 年生を中心とした就職ガイダンスは、就職課が通年で実施します。具体的には、毎年 5 月から翌年の 2 月頃までの期間で、原則として毎週金曜日の 4 時限目に約 30 コマ開催しています。このガイダンスでは、社会に出て働く意味や就職への動機付けを始め、企業講演会、適性検査、模擬面接、マナー講座等、キャリア教育及び就職活動に係る多様な内容を実施します。このような取り組みをとおして、学生に勤労観・職業観の涵養を図るとともに、的確な進路選択と進路実現のための具体的な行動目標の設定につなげていきます。

⑤ 実際の就職活動に際しての注意点及び考慮すべき点等、詳細については、3 年生を対象にした就職ガイダンスの中で、「就職の手引き」を別途配付し、説明を行っています。

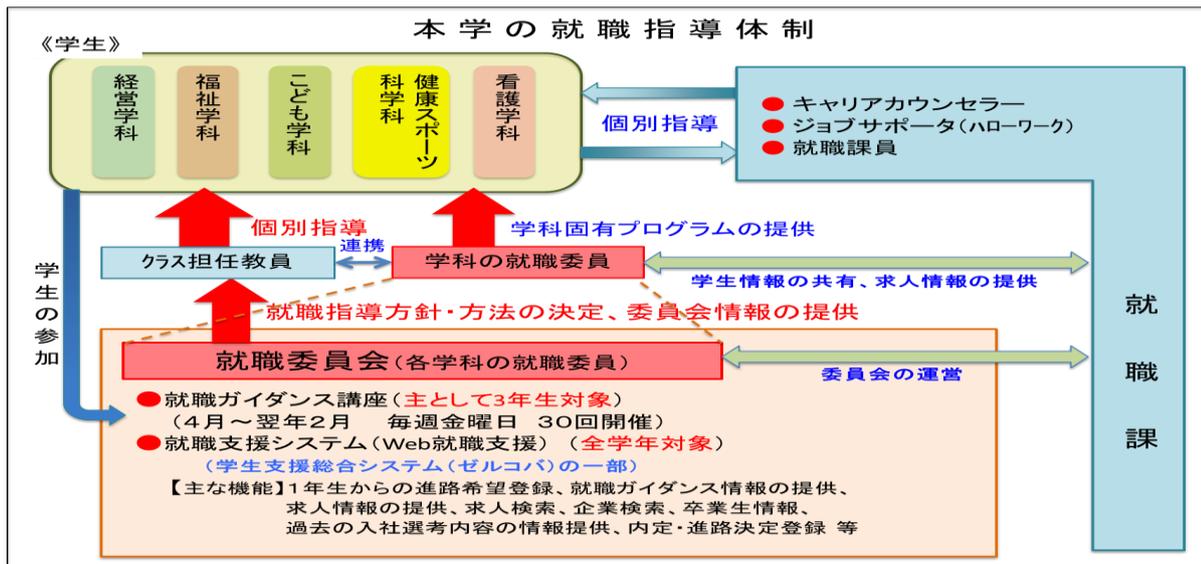


図 4.1 就職指導体制

2) 平成 29 年度 (第 21 期生) の就職状況

本学の就職率の推移は、開学以来常に 95%を上回っており、本年度も最終就職率 100%を達成することができました。

表 4.1 平成 30 年 3 月卒業生の就職状況

(平成 30 年 5 月 1 日現在 学校基本調査データ)

(単位:人)

学 科	卒業者数	進 学	その他	就職希望者数	就職決定者数	内定率(%)
経 営	29	0	0	29	29	100.0
福 祉	41	1	3	37	37	100.0
こども	52	0	2	50	50	100.0
健康スポーツ科	91	4	5	82	82	100.0
看 護	85	4	12	69	69	100.0
合 計	298	9	22	267	267	100.0

※進学:大学院・専攻科等の進学、

※その他:教職・看護師・保険師・公務員等志望、結婚・病気療養及び家事手伝い等

※内定率=就職決定者数÷就職希望者数

※平成 29 年 9 月卒業生を含む

3) 卒業生の主な就職先 (学科別)

【経営学部】

○経営学科

《一般企業》

(株)アクトシステムズ (株)アンリックス (株)エブリイホームイホールディングス キングパーツ(株)
コムパス(株) (株)ザグザグ (株)サニックス (株)三協 (株)山陽マルナカ JFE スチール(株) 西

部運輸(株) 大黒天物産(株) ツネイシビジネスサービス(株) (株)なかやま牧場 西日本リネンサブ
ライ(株) (株)ニチエー 日塗(株) (株)日産サティオ福山 日東製網(株) (株)ハローズ 広島トヨ
タ自動車(株) 備後漬物(株) (株)ファーマシィ (株)ププレひまわり (株)ロイヤルコーポレーション
寺岡整形外科病院 (社福) 春海会 他

《金融・保険》 しまなみ信用金庫 第一生命保険(株) 備後信用組合 両備信用組合 各 JA
他

《公務員 他》 福山市役所 自衛隊 警察 消防署 府中商工会議所 福山商業高等学校 他

【福祉健康学部】

○福祉学科

《医療・福祉》

三原病院 広島第一病院 (医社) サンスクエア沼南 (医社) ふぁみりい (医社) ひがしの会
(医社) 駅家リハビリテーション SAKURA (社福) ジョイトピアおおさ/しんいち (社福) 宣山
荘 (社福) 福山福寿園 (社福) 一れつ会 (社福) 尾道さつき会 (社福) 静和会 (大日学
園他) (社福) 春海会 (社福) 広谷福祉会 (社福) 創樹会 (福山六方学園) (社福) 「ゼ
ノ」少年牧場 (社福) 笠岡市社会福祉事業会 (笠岡学園) (社福) アンダンテ (社福) こぶ
しの村福祉会 (社福) あづみの森 他

《社協 他》 福山市北部東地域包括支援センター 庄原市社会福祉協議会 徳島県社会福祉協議
会 他

《一般企業》 (株)日本郵便 西日本旅客鉄道(株) 備後信用組合 (株)JTB (株)ププレひまわり 他

○こども学科

《幼稚園・保育園・施設》

白ゆり幼稚園 敬愛幼稚園 すばる幼稚園 誠信幼稚園 千鶴幼稚園 福山りじょう幼稚園
大津野こども園 めばえ幼稚舎 今津未来園 つなぎ保育園 瀬戸保育所 田尻保育園
千田西保育所 まこと保育園 水呑保育所 わかば保育園 (社福) 一れつ会 (社福) こ
ぶしの村福祉会 (社福) 「ゼノ」少年牧場 (社福) 創樹会 (福山六方学園) (社福) 龍華福
祉会 (福山ルンビニ園) 他

《教員・公務員》

井原市立幼稚園 尾道市吉和幼稚園 福山市立桜丘小学校 福山市立深津小学校 福山市立常石
小学校 福山市立広瀬小学校 福山市立神辺小学校 義務教育学校府中学園 広島県立尾道特
別支援学校 東広島市立郷田小学校 和泉市立青葉はつが野小学校 島根県警察 自衛隊 他

○健康スポーツ科学科

《一般企業 他》

(株)ヒマラヤ (株)フジスポーツ事業部 (株)ルネサンス RIZAP(株) (株)愛媛銀行 (株)山陰合同銀

行 両備信用組合 野村証券(株) 岩井コスモ証券(株) 大同生命保険(株) 各 JA 西部ガスエネルギー(株) サントリービバレッジサービス(株) 新広島ヤクルト販売(株) (株)富士薬品 (株)ププレひまわり セコム(株) 総合警備保障(株) はるやま商事(株) ダンロップタイヤ中国(株) 佐川急便(株) JFE スチール(株) 飛翔会グループ (社福) 一れつ会 (社福) 春海会 他

《教員・公務員》

福山市立泉小学校 広島県立尾道特別支援学校 神石高原町立神石高原中学校 広島県立福山誠之館高校 比治山女子中学・高等学校 広島桜ヶ丘高等学校 山口県立長府高等学校 福山市役所 神石高原町役場 東京消防庁 福山地区消防組合 広島県警察 岡山県警察 自衛隊 他

【看護学部】

○看護学科

福山市民病院 中国中央病院 福山医療センター 寺岡記念病院 日本鋼管福山病院 脳神経センター大田記念病院 寺岡整形外科病院 山陽病院 尾道市立市民病院 公立みつぎ総合病院 JA 尾道総合病院 東広島医療センター 広島大学病院 県立広島病院 広島市民病院 広島赤十字・原爆病院 マツダ病院 島根大学医学部附属病院 鳥取大学医学部附属病院 岡山大学病院 岡山医療センター 川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院 倉敷成人病センター 兵庫県立こども病院 神戸市立医療センター中央市民病院 大阪大学医学部附属病院 東京大学医学部附属病院 がん研究会有明病院 山口県立総合医療センター 静岡県立静岡がんセンター 宮崎大学医学部附属病院 熊本大学病院 長崎大学病院 神石高原町役場 倉敷高等学校 広島県立大崎海星高等学校

4) 各種の資格（学科別）

本学で取得できる資格は、次のとおりである。これらの資格を取得できるように、各学科で教育課程上の工夫や指導がなされている。

表 4.2 本学で取得できる資格

経営	経営	高等学校教諭一種免許状（商業） 文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス／1～3級 日商簿記検定試験／1～3級 電子会計実務検定試験／2～3級 ビジネス会計検定 リテールマーケティング（販売士）検定試験／1～3級 経営学検定/初級 外務員資格（証券外務員） 医療事務管理士技能認定試験 診療報酬請求事務能力認定試験 秘書技能検定／2～3級 ICT プロフィシエンシー検定（P 検）／2～3級 マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS） ITパスポート試験（国家試験）
----	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			基本情報技術者試験（国家試験） 応用情報技術者試験（国家試験） T O E I C H S K (漢語水平考試)
福祉健康	福祉	社会福祉 コース	社会福祉士（国家試験受験資格） 精神保健福祉士（国家試験受験資格） 保育士資格（国家資格） 高等学校教諭一種免許状（福祉） 福祉用具専門相談員 社会福祉主事（任用資格） 児童指導員（任用資格）
		介護福祉 コース	介護福祉士（国家資格受験資格） 社会福祉士（国家試験受験資格） 精神保健福祉士（国家試験受験資格） 高等学校教諭一種免許状（福祉） 福祉用具専門相談員 社会福祉主事（任用資格） 児童指導員（任用資格）
		資格取得 支援対象	介護職員初任者研修 認知症ライフパートナー 福祉住環境コーディネーター 診療報酬請求事務能力認定試験
	こども		保育士資格（国家資格） 幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
	健康スポーツ科		中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 養護教諭一種免許状 健康運動実践指導者（受験資格） 日本体育協会 競技別指導員、競技別コーチ等 （受験資格）
看護	看護		看護師（国家試験受験資格） 保健師（国家試験受験資格） 高等学校教諭一種免許状（看護） 高等学校教諭一種免許状（保健） 中学校教諭一種免許状（保健） 養護教諭一種免許状

【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

本学の授業科目及び授業方法・内容については、紙媒体の学生便覧、電子媒体の授業時間割及びシラバスによって学生に周知し、履修指導や修学指導を行っている。なお、年間の授業計画は、教務委員会から全学教授会に諮られ、全教員が承認のうえ、実施されている。この年間事業計画を「学年暦」と呼び、全学生に配布する。

表 5.1 平成 30 年度 学 年 暦 (授業計画)

平成 30 年度 学 年 暦 (付、A・B 週)

月	A・B 週							行 事			学 務 関 係 事			
	A/B	日	月	火	水	木	金	土	日	曜	行 事	日	曜	行 事
4	A	1	2	3	4	5	6	7	4	水	入学式			
	B	8	9	10	11	12	13	14	4(水)~5(木)		新入生オリエンテーション	6(金)~9(月)		前期健康診断
	A	15	16	17	18	19	20	21	6(金)~7(土)		新入生合宿オリエンテーション	6(金)~13(金)		履修申請期間(Web入力)
	B	22	23	24	25	26	27	28	6(金)~9(月)		在学生オリエンテーション	18(水)~19(木)		履修申請確認期間
	A	29	30						10	火	前期授業開始			Web就職登録更新期間
5	A			1	2	3	4	5						
	B	6	7	8	9	10	11	12						
	A	13	14	15	16	17	18	19	15	火	開学記念日・学長杯争奪競技大会	7(月)~11(金)		教職カルテ入力期間
	B	20	21	22	23	24	25	26				7(月)~11(金)		履修辞退手続期間
	A	27	28	29	30	31						19	土	曜日調整日(月曜日(B週)の授業)
6	A						1	2						
	B	3	4	5	6	7	8	9						
	A	10	11	12	13	14	15	16	23	土	見学会			
	B	17	18	19	20	21	22	23						
	A	24	25	26	27	28	29	30						
7	B	1	2	3	4	5	6	7						
	A	8	9	10	11	12	13	14				11	水	曜日調整日(月曜日(B週)の授業)
	B	15	16	17	18	19	20	21						
	A	22	23	24	25	26	27	28	22	日	体験入学会	7/28(土)~8/4(土)		前期定期試験
	B	29	30	31					27	金	前期授業終了			
8	B			1	2	3	4							
	A	5	6	7	8	9	10	11	6	月	夏季休業開始	6	月	前期集中講義開始
	B	12	13	14	15	16	17	18	18	土	体験入学会			
	A	19	20	21	22	23	24	25			8/19(日)~9/8(土) 保証人懇談会(地方・本学会場)			
	B	26	27	28	29	30	31				※地方会場(広島・松山・福岡)8/19(日) (松江)9/8(土) ※本学会場8/25(土)~8/26(日)			
9	B						1		1	土	見学会			
	A	2	3	4	5	6	7	8	3	月	保証人懇談会(地方会場)沖縄			
	B	9	10	11	12	13	14	15	15	土	夏季休業終了			
	A	16	17	18	19	20	21	22	19	水	後期授業開始	19(水)~21(金)		後期追加履修申請期間(許可された者のみ)
	B	23	24	25	26	27	28	29				25	火	曜日調整日(月曜日(B週)の授業)
A	30										9/26(水)~9/29(土)		履修申請確認期間	

※補講は、土曜日に実施します。

※■気象警報発令等により一斉休講となった場合の補講は、土曜日の実施になります(後日掲示等により通知)。

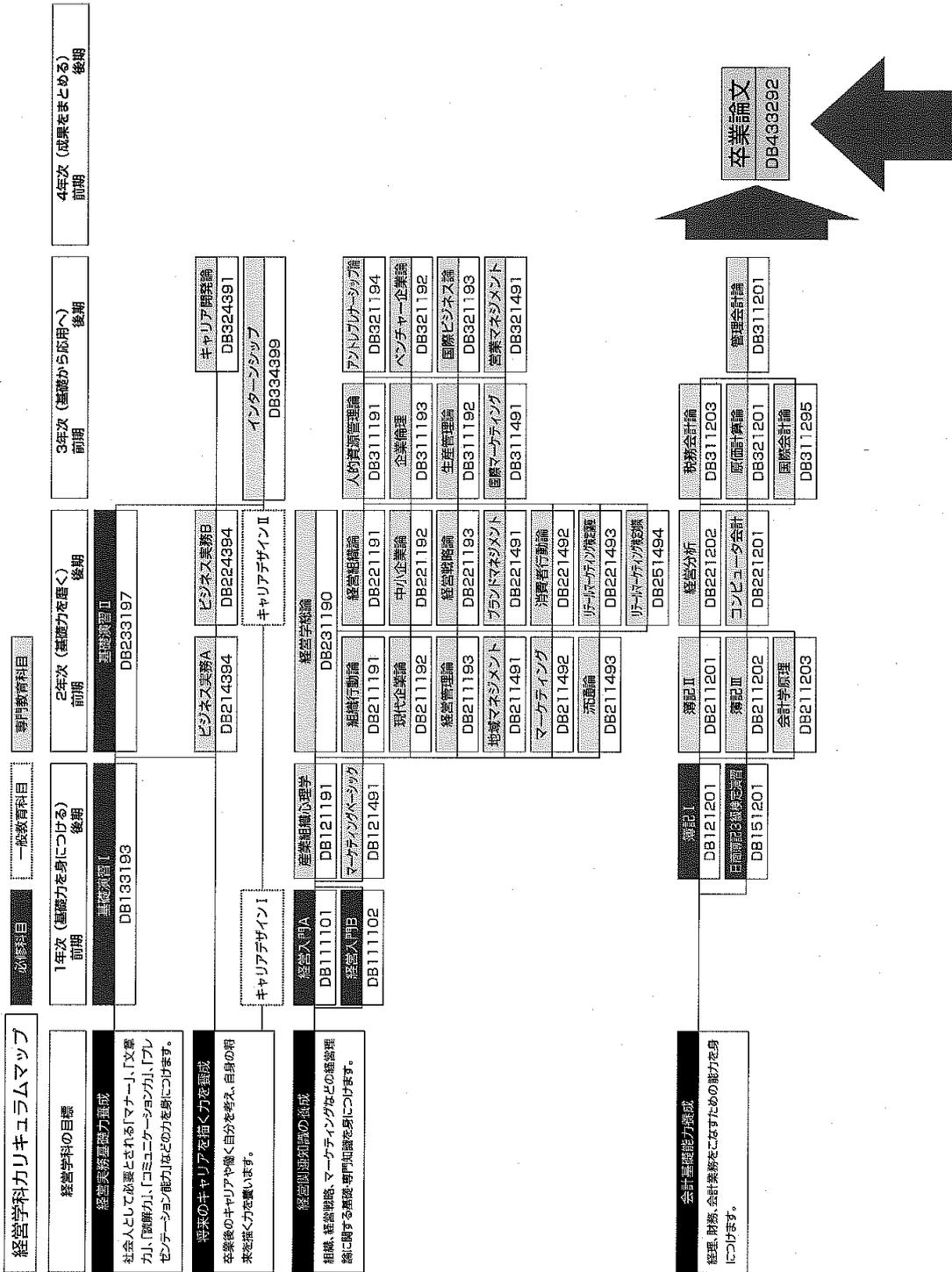
月	A・B週							行事		学務関係					
	A-B	日	月	火	水	木	金	土	日	曜	日	曜			
10	A		1	2	3	4	5	6	7	日	11	木			
	B	7	8	9	10	11	12	13							
	A	14	15	16	17	18	19	20							
	B	21	22	23	24	25	26	27							
	A	28	29	30	31										
												曜日調整日(月曜日(A週)の授業 15(月)～18(木) 履修辞退手續期間			
11	A						1	2	3	6	(火)～7(水)	推薦入試(A日程)	14	水	
	B	4	5	6	7	8	9	10							
	A	11	12	13	14	15	16	17							
	B	18	19	20	21	22	23	24							
	A	25	26	27	28	29	30								
												曜日調整日(金曜日(B週)の授業 16(金) 曜日調整日(金曜日(B週)の授業 19(月)～21(水) 後期健康診断(1日実施)			
12	A						1	2	3	8	土	推薦入試(B日程)	19	水	
	B	2	3	4	5	6	7	8							
	A	9	10	11	12	13	14	15							
	B	16	17	18	19	20	21	22							
	A	23	24	25	26	27	28	29							
B	30	31							21	金	冬季休業開始 仕事納め	21	金	曜日調整日(金曜日(B週)の授業 後期集中講義開始	
1	B			1	2	3	4	5	6	7	月	仕事始め	10	木	
	A	6	7	8	9	10	11	12							
	B	13	14	15	16	17	18	19							
	A	20	21	22	23	24	25	26							
	B	27	28	29	30	31									
										7	月	冬季休業終了			曜日調整日(月曜日(A週)の授業
										8	火	授業開始			
										18	金	センター試験会場設置			
										19	(土)～20(日)	大学入試センター試験			
										30	水	後期授業終了			
										1/31	(水)～2/3(土)	前期入試(A日程)			
2	B						1	2	3	15	(金)～28(木)	学部学科別行事	4	(月)～14(木)	
	A	3	4	5	6	7	8	9							
	B	10	11	12	13	14	15	16							
	A	17	18	19	20	21	22	23							
	B	24	25	26	27	28									
										20	水	前期入試(B日程)			後期定期試験
3	B						1	2	3	1	金	春季休業開始	16	土	
	A	3	4	5	6	7	8	9							
	B	10	11	12	13	14	15	16							
	A	17	18	19	20	21	22	23							
	B	24	25	26	27	28	29	30							
										9	土	後期入試			
										21	木	春の見学会 学位記授与式(卒業式)			

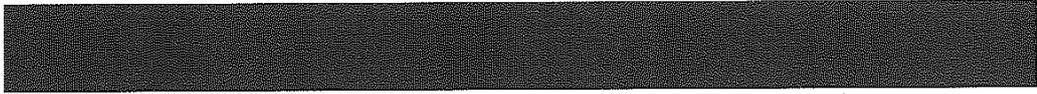
- 授業
- 定期試験
- 行事
- 入試(センター含む)
- 曜日調整日
- 特別授業日

＜教育課程の編成方針＞

各学部・各学科ともに、本学の“建学の精神”及び“大学の基本理念”に基づき、定められた学部の目的ならびに学科の目的を実現するため、教育課程を体系的に編成し、遵守するなかで、特色ある教育内容や方法を工夫・実践していることが明示されている。次頁以降に学科・研究科毎に教育課程の概要を示す。

(経営学科)





<p>経営データ処理・分析能力養成</p> <p>データの本質を捉え、分析できる能力を身につけます。</p>	基礎数学A	DB111391	基礎数学B	DB121392	統計	DB211395	統計分析	DB221395	経営科学	DB311394	高度決定論	DB321395
	情報処理A	DB1112192	情報処理B	DB121201	表計算	DB212201	プレゼンテーション	DB222201	情報セキュリティ	DB312196	情報ビジネス	DB322192
<p>情報活用能力養成</p> <p>ICT(情報通信技術)が急速に発展する中、パソコンやタブレット端末などの情報機器を使いこなすとともに情報を活用し、企業などで活躍できるための能力を身につけます。</p>	情報入門	DB1112192	マルチメディア	DB312201	情報システム	DB322202	情報ネットワーク	DB312197	データベース	DB322201	ビジネスゲーム	DB322191
	英語A	DB1114102	英語B	DB1214102	外国語A(選択)	DB214102	外国語B(選択)	DB314102	ビジネス中国語A	DB324102	ビジネス中国語B	DB334102
<p>グローバル化対応能力養成</p> <p>グローバル化が進化する中、国内のみならず、海外でも活躍できるための力を身につけます。</p>	英語会話A	DB1114102	英語会話B	DB1214102	ビジネス英語A	DB224102	ビジネス英語B	DB324102	海外研修事前講座Ⅰ	DB334102	海外研修Ⅰ	DB344102
	英語会話A	DB1114102	英語会話B	DB1214102	海外研修事前講座Ⅰ	DB214196	海外研修Ⅰ	DB314196	海外研修Ⅱ	DB324196	海外研修Ⅲ	DB334196
<p>医療事務能力養成</p> <p>医療機関で、医療事務として活躍するための能力を身につけます。</p>	実用日本語ⅠA	DB114101	実用日本語ⅠB	DB124101	実用日本語ⅠA	DB224102	実用日本語ⅠB	DB324101	診療報酬事務講習	DB334101	診療報酬事務講習	DB344101
	実用日本語ⅠA	DB114101	実用日本語ⅠB	DB124101	実用日本語ⅠA	DB224102	実用日本語ⅠB	DB324101	診療報酬事務講習	DB334101	診療報酬事務講習	DB344101
<p>専門知識活用能力養成</p> <p>課題を設定、専門知識を活用し分析する能力を身につけます。そして分析の結果についてわかりやすく表現できる力を養成します。</p>	実用日本語ⅡA	DB114101	実用日本語ⅡB	DB124101	実用日本語ⅡA	DB224101	実用日本語ⅡB	DB324101	海外研修Ⅱ	DB334101	海外研修Ⅲ	DB344101
	実用日本語ⅡA	DB114101	実用日本語ⅡB	DB124101	実用日本語ⅡA	DB224101	実用日本語ⅡB	DB324101	海外研修Ⅱ	DB334101	海外研修Ⅲ	DB344101

ゼミナールⅡ
DB433291

ゼミナールⅠ
DB333298

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

経営学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材の育成を目指している。初年次教育では、学科が目指す人材の育成を図るため、教養を深めるとともにビジネスパーソンとして活躍するために必要な基本的な資質・能力を涵養することを目的とする。そのうえで、資格取得に直結した科目、アクティブ・ラーニング型科目およびキャリア開発関係科目を含む専門教育を通して、ビジネスパーソンに必要とされる専門知識を幅広く修得、深める。さらに、専門ゼミナール、卒業論文の中で、情報化やグローバル化など経済・社会環境の変化に対応して、問題を発見、総合的に判断・解決する能力やプレゼンテーション能力の涵養を図る。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

経営学科では、以下に示した知識及び能力を身につけ、所定の単位を修めた者に対し、学士(経営学)の学位を授与する。

1. 多様な教養教育科目と専門教育科目を修得している。
2. ビジネスパーソンとして働くうえでの倫理観に基づき、問題を発見し解決する能力および情報を発信する能力を身につけている。
3. 他者と協調・協働して課題解決に取り組む能力やコミュニケーション能力を身につけている。
4. 情報通信技術の発達やグローバル化などの経済・社会環境の変化に対応し、複眼的視点から物事の本質を捉え総合的に意思決定を行い、企業および地域に貢献できる力を身につけている。

(福祉学科)
 <社会福祉コース>

福祉学科 社会福祉コースカリキュラムマップ				学生(福祉学)			
専門科目	選択必修科目	必修科目	1年次(履修の順番・科目コードを学ぶ)	2年次(知識・技能を習得)	3年次(専門性を高める)	4年次(職業人の育成)	
福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目							
人と社会の関わり 関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士、児童士	社会福祉論Ⅱ 121102		111101				
	ボランティア活動論 121103		111103				
	社会福祉とボランティア 121106		111106				
	福祉論		111107				
心と体の仕組み 関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士	社会福祉論と法的知識 121202		111201				
				こころとからだのしくみ 221210			
				こころとからだのしくみ 221211			
				認知症の理解Ⅰ 221212			
				認知症の理解Ⅱ 311213			
				認知症の理解Ⅲ 311203			
				認知症の理解Ⅳ 311204			
				発達障害の理解Ⅰ 311205			
				発達障害の理解Ⅱ 311206			
				発達障害の理解Ⅲ 311207			
				発達障害の理解Ⅳ 311208			
				発達障害の理解Ⅴ 311209			
分科分野 関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士、児童士、児童福祉司、児童福祉司補			地域福祉論Ⅱ 211301				
			地域福祉論Ⅲ 211302				
			社会福祉論Ⅱ 221306				
			社会福祉論Ⅲ 221307				
			社会福祉論Ⅳ 221308				
			社会福祉論Ⅴ 221309				
			社会福祉論Ⅵ 221310				
			社会福祉論Ⅶ 221311				
			社会福祉論Ⅷ 221312				
			社会福祉論Ⅸ 221313				
			社会福祉論Ⅹ 221314				
			社会福祉論Ⅺ 221315				
			社会福祉論Ⅻ 221316				
			社会福祉論Ⅼ 221317				
			社会福祉論Ⅽ 221318				
			社会福祉論Ⅾ 221319				
			社会福祉論Ⅿ 221320				
			社会福祉論ⅰ 221321				
			社会福祉論ⅱ 221322				
			社会福祉論ⅲ 221323				
			社会福祉論ⅴ 221324				
			社会福祉論ⅵ 221325				
			社会福祉論ⅶ 221326				
			社会福祉論ⅷ 221327				
			社会福祉論ⅸ 221328				
			社会福祉論ⅹ 221329				
			社会福祉論ⅺ 221330				
			社会福祉論ⅻ 221331				
			社会福祉論ⅼ 221332				
			社会福祉論ⅽ 221333				
			社会福祉論ⅿ 221334				
			社会福祉論ⅿ 221335				
			社会福祉論ⅿ 221336				
			社会福祉論ⅿ 221337				
			社会福祉論ⅿ 221338				
			社会福祉論ⅿ 221339				
			社会福祉論ⅿ 221340				
			社会福祉論ⅿ 221341				
			社会福祉論ⅿ 221342				
			社会福祉論ⅿ 221343				
			社会福祉論ⅿ 221344				
			社会福祉論ⅿ 221345				
			社会福祉論ⅿ 221346				
			社会福祉論ⅿ 221347				
			社会福祉論ⅿ 221348				
			社会福祉論ⅿ 221349				
			社会福祉論ⅿ 221350				
			社会福祉論ⅿ 221351				
			社会福祉論ⅿ 221352				
			社会福祉論ⅿ 221353				
			社会福祉論ⅿ 221354				
			社会福祉論ⅿ 221355				
			社会福祉論ⅿ 221356				
			社会福祉論ⅿ 221357				
			社会福祉論ⅿ 221358				
			社会福祉論ⅿ 221359				
			社会福祉論ⅿ 221360				
			社会福祉論ⅿ 221361				
			社会福祉論ⅿ 221362				
			社会福祉論ⅿ 221363				
			社会福祉論ⅿ 221364				
			社会福祉論ⅿ 221365				
			社会福祉論ⅿ 221366				
			社会福祉論ⅿ 221367				
			社会福祉論ⅿ 221368				
			社会福祉論ⅿ 221369				
			社会福祉論ⅿ 221370				
			社会福祉論ⅿ 221371				
			社会福祉論ⅿ 221372				
			社会福祉論ⅿ 221373				
			社会福祉論ⅿ 221374				
			社会福祉論ⅿ 221375				
			社会福祉論ⅿ 221376				
			社会福祉論ⅿ 221377				
			社会福祉論ⅿ 221378				
			社会福祉論ⅿ 221379				
			社会福祉論ⅿ 221380				
			社会福祉論ⅿ 221381				
			社会福祉論ⅿ 221382				
			社会福祉論ⅿ 221383				
			社会福祉論ⅿ 221384				
			社会福祉論ⅿ 221385				
			社会福祉論ⅿ 221386				
			社会福祉論ⅿ 221387				
			社会福祉論ⅿ 221388				
			社会福祉論ⅿ 221389				
			社会福祉論ⅿ 221390				
			社会福祉論ⅿ 221391				
			社会福祉論ⅿ 221392				
			社会福祉論ⅿ 221393				
			社会福祉論ⅿ 221394				
			社会福祉論ⅿ 221395				
			社会福祉論ⅿ 221396				
			社会福祉論ⅿ 221397				
			社会福祉論ⅿ 221398				
			社会福祉論ⅿ 221399				
			社会福祉論ⅿ 221400				

福祉学科 社会福祉コースカリキュラムマップ		専門科目	選択的科目	必修科目
福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目		1年次(福祉の基礎・基礎について学ぶ)	2年次(知識・技術を習得)	4年次(職業人の育成)
福祉学専攻 副専攻 教育士	福祉学専攻(基礎)	361605	361605	361605
	福祉学専攻(応用)	311701		
	福祉学専攻(実践)	311702		
	福祉学専攻(実践)	311703		
	福祉学専攻(実践)	311704		
	福祉学専攻(実践)	321705		
	福祉学専攻(実践)	311706		
	福祉学専攻(実践)	321707		
	福祉学専攻(実践)	311708		
	福祉学専攻(実践)	321709		
	福祉学専攻(実践)	311710		
	福祉学専攻(実践)	321711		
	福祉学専攻(実践)	321712		
	福祉学専攻(実践)	311713		
	福祉学専攻(実践)	321714		
	福祉学専攻(実践)	321715		
	福祉学専攻(実践)	321718		

学士(福祉学)

学上(種社学)

健康スポーツ部門	幼児保育	311719				
	児童社会教育	321720				
	社会的養育内務	321721				
	保育行政支援	321722				
	高齢者介護課	321723				
	給食I	311724				
	給食II	321727				
	園庭工作I	311728				
	園庭工作II	321728				
	体育I	311725				
	体育II	411731				
	保育実習指導	311730				
	保育実習	361729	保育実習	361729	保育実習II	461732
	保育実習II	461732				
	新卒研修実習(幼小)	461733				
健康スポーツ部員	健康スポーツ部員が活躍	321801				
	スポーツ心理学	311803				
	チームづくりに関する実践	311804				
	レクリエーション	311806				
	スポーツリハビリテーション	321805				
	運動処方箋	321801				
情報処理工学	情報処理工学IA	111901	情報処理工学IB	121902		
	111901					
情報処理工学	実用情報学IA	211903	実用情報学IB	221904		
	211903					
	実用情報学IIA	211909	実用情報学IIB	221910		
	211909					
国際文化	実用日本語IA	111907	実用日本語IB	121908		
	111907					
	実用日本語IIA	311911	実用日本語IIB	321912		
	311911					

<介護福祉コース>

専攻科目		必修科目		学士(福祉学)	
専門科目	選択必修科目	2年次(応用・応用発展)	3年次(専門性を高める)	4年次(専門性の育成)	説明
福祉学科介護福祉コースカリキュラムマップ	1年次(福祉の基礎・応用)として学ぶ	2年次(応用・応用発展)	3年次(専門性を高める)	4年次(専門性の育成)	説明
福祉学科介護福祉コース 専門教育科目	1年次(福祉の基礎・応用)として学ぶ	2年次(応用・応用発展)	3年次(専門性を高める)	4年次(専門性の育成)	説明
人と社会の関わり	社会福祉論Ⅱ 112101 122102	社会福祉論Ⅱ 212111	社会福祉論Ⅱ 312105	社会福祉論Ⅱ 412216	
関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士	ボランティア活動論 112103 122104	ボランティア活動論 212112	ボランティア活動論 312107	ボランティア活動論 412216	
心と体の仕組み	心理学概論と認知行動論 112201 122202	心理学概論と認知行動論 212211	心理学概論と認知行動論 312203	心理学概論と認知行動論 412216	
関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、児童福祉司	認知の理解Ⅰ 122210	認知の理解Ⅱ 212211	認知の理解Ⅲ 312203	認知の理解Ⅳ 412216	
分科部門	福祉学専攻・福祉学専攻 112217 122218	福祉学専攻・福祉学専攻 212212	福祉学専攻・福祉学専攻 312205	福祉学専攻・福祉学専攻 412216	
関連する資格 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士	老人福祉論Ⅰ 112207 介護福祉学Ⅰ 112222	老人福祉論Ⅱ 212305 介護福祉学Ⅱ 122323	老人福祉論Ⅲ 312208 介護福祉学Ⅲ 312303	老人福祉論Ⅳ 412216 介護福祉学Ⅳ 412216	
	社会福祉論Ⅰ 212306	社会福祉論Ⅱ 222306	社会福祉論Ⅲ 312303	社会福祉論Ⅳ 412216	
	児童福祉論Ⅰ 212312	児童福祉論Ⅱ 222313	児童福祉論Ⅲ 312304	児童福祉論Ⅳ 412216	
	リハビリテーション論 212324	リハビリテーション論 222325	リハビリテーション論 312304	リハビリテーション論 412216	
	介護実践Ⅰ 212326	介護実践Ⅱ 222327	介護実践Ⅲ 312309	介護実践Ⅳ 412216	
	介護実践Ⅱ 212327	介護実践Ⅲ 222328	介護実践Ⅳ 312309	介護実践Ⅴ 412216	
	地域福祉論Ⅰ 212301	地域福祉論Ⅱ 222302	地域福祉論Ⅲ 312302	地域福祉論Ⅳ 412216	
	福祉行政概論と福祉計画 312303	福祉行政概論と福祉計画 312303	福祉行政概論と福祉計画 312303	福祉行政概論と福祉計画 312303	
	福祉行政概論と福祉計画 312304	福祉行政概論と福祉計画 312304	福祉行政概論と福祉計画 312304	福祉行政概論と福祉計画 312304	
	介護実践Ⅳ 312330	介護実践Ⅴ 312330	介護実践Ⅵ 312309	介護実践Ⅶ 312309	
	介護実践Ⅴ 312309	介護実践Ⅵ 312309	介護実践Ⅶ 312309	介護実践Ⅷ 312309	
	介護実践Ⅵ 312309	介護実践Ⅶ 312309	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	
	介護実践Ⅶ 312309	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	
	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	介護実践Ⅷ 312309	

能)に関する科目と、人間力(知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力)を高め、社会的で活躍しうる職業人を育成することを目的とし科目を配置する。

また、実習・演習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を設置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、必要な知識、態度、技能の習得を身につける。

具体的な到達目標

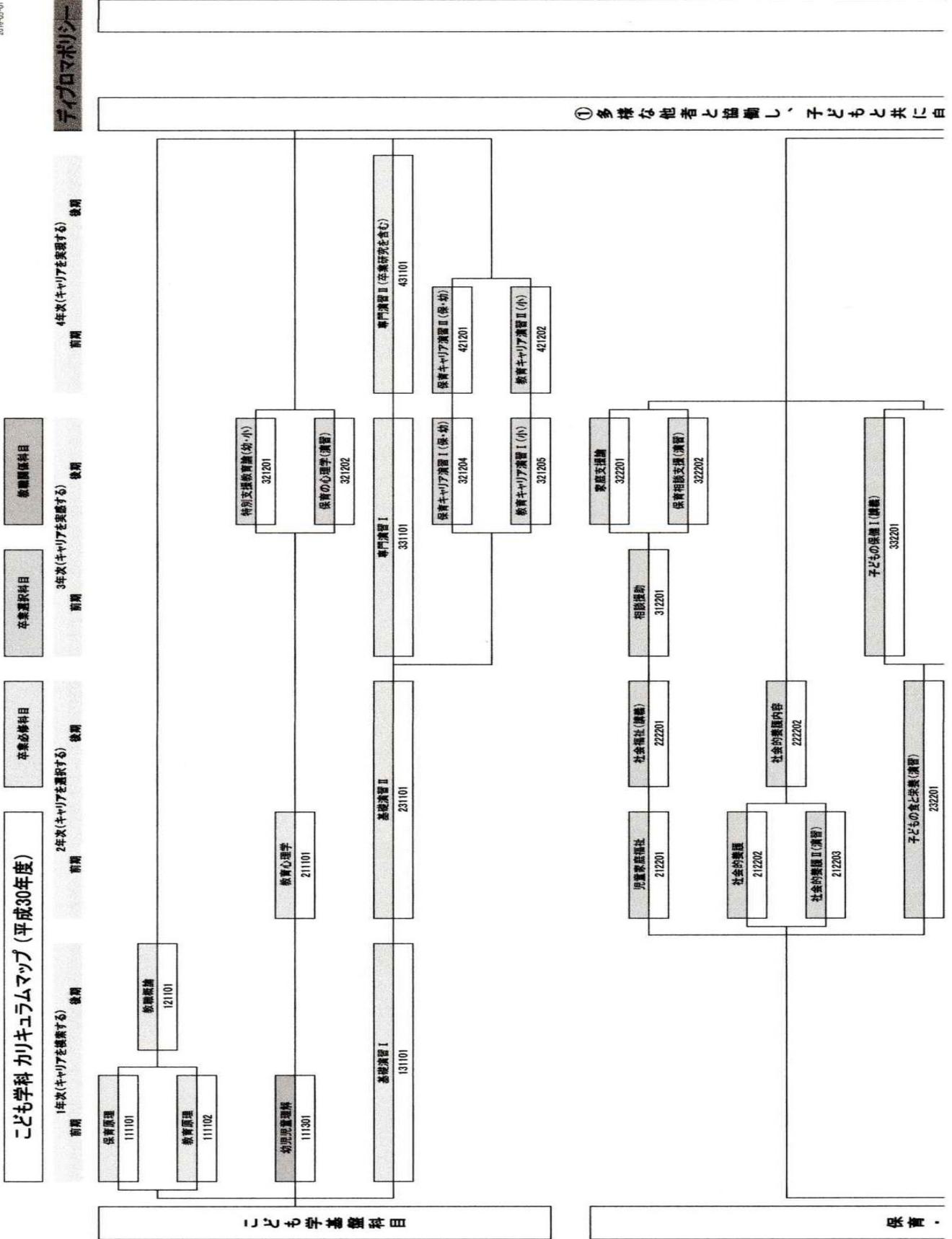
1. 社会福祉コースでは、社会福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラム(教育課程)とする。介護福祉コースでは、介護福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとする。
2. 少人数教育を重視し、1年次から4年次までの「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と一貫したカリキュラムを編成し、基礎から研究までの連続性を重視する。
3. 福祉関係国家試験受験資格(社会福祉士、精神福祉士、介護福祉士)を取得する。
4. 健康・医療・福祉に関連する外部業界団体認定諸資格取得を支援する。
5. 学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップを実施する。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)

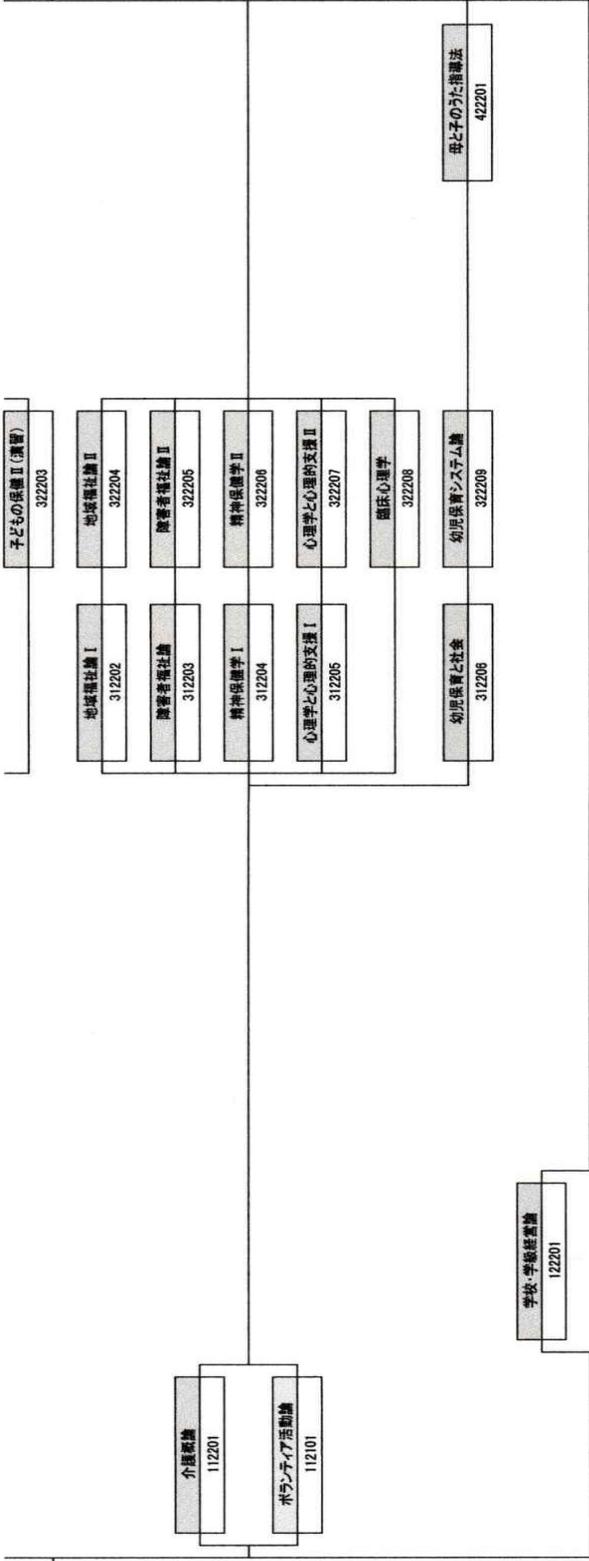
福祉学科ディプロマポリシー

福祉学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を習得した者に卒業を認定し、学士(福祉学)を授与する。

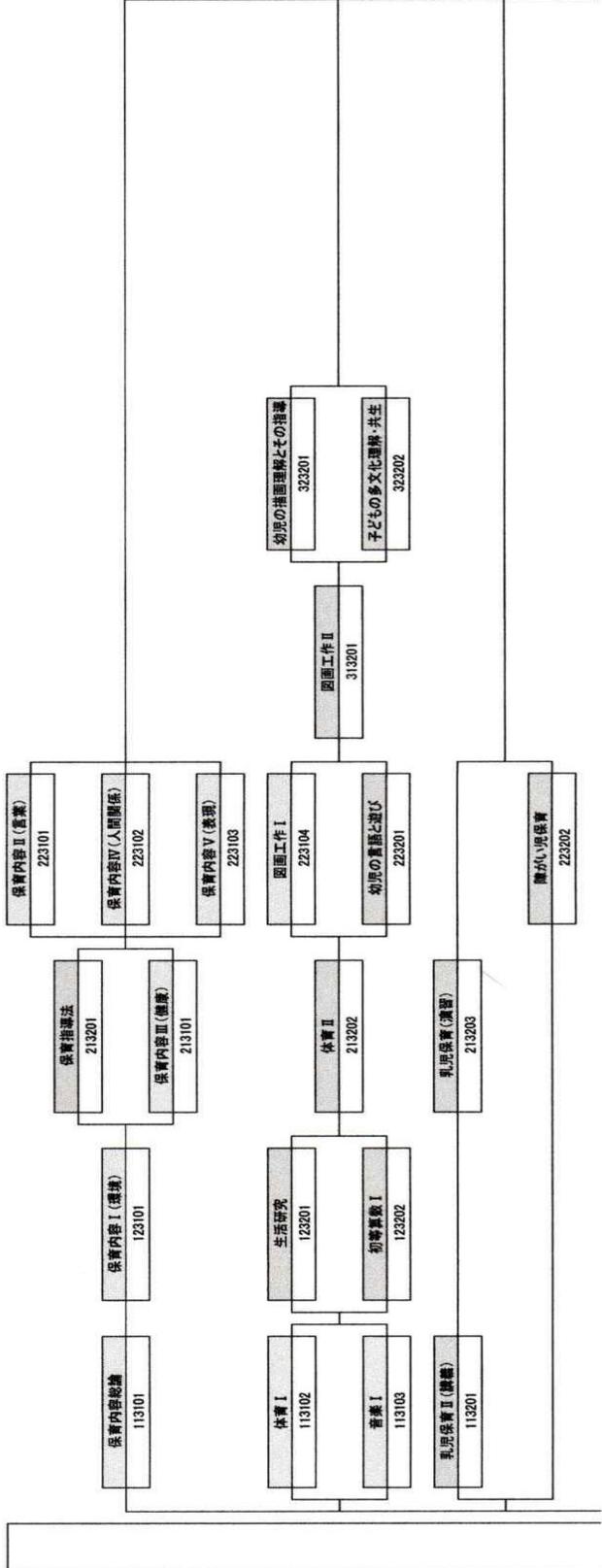
1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できるようになる。(知識・理解)
2. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。(思考・判断)
3. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況を共感できるようになる。(態度)
4. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者(ソーシャルワーカー、ケアワーカー)としての専門的スキルを身に付けられるようになる。(技能)
5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。(態度)



教育の理論に関する科目



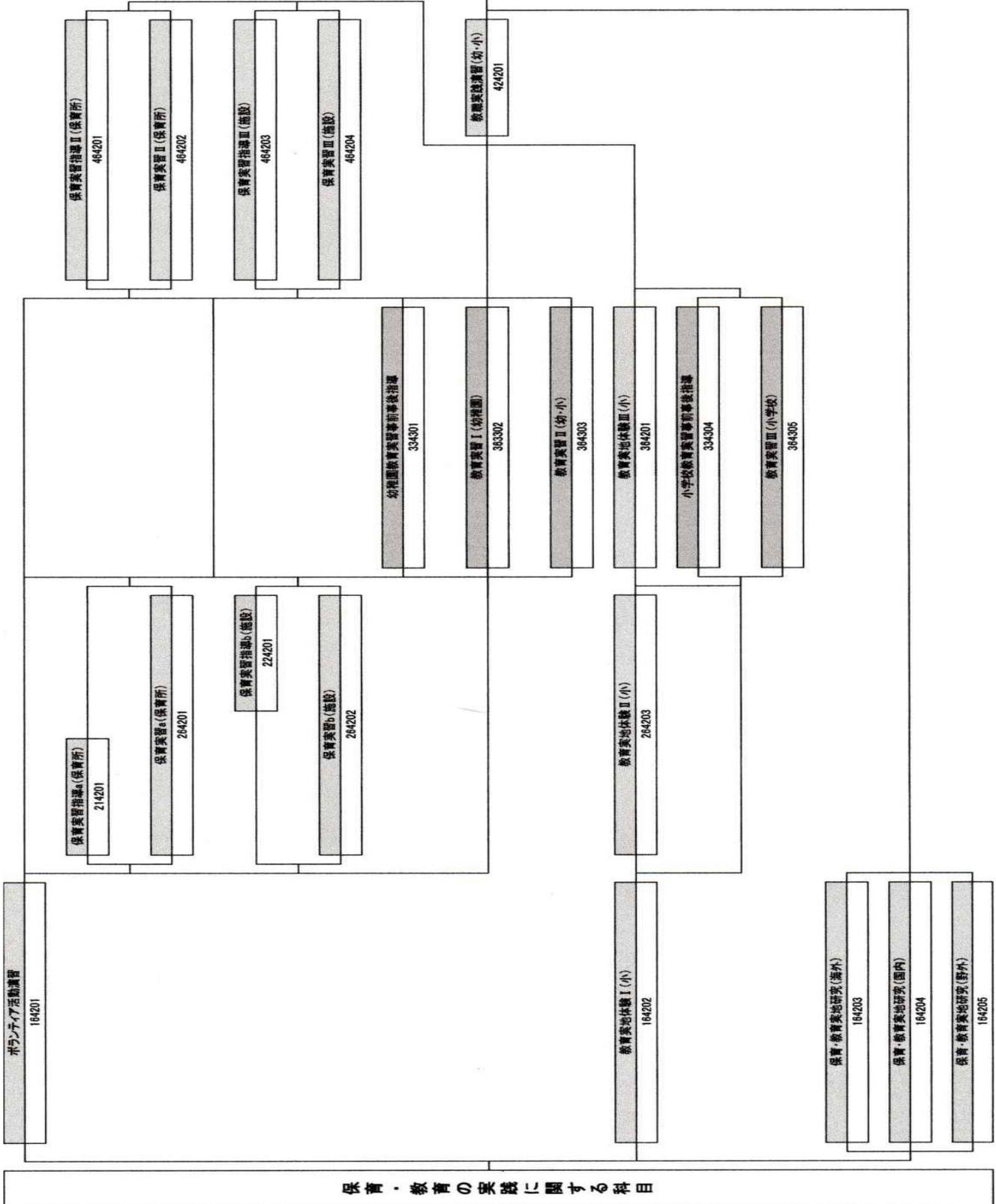
② 子どもの発達と学習を促進する支援と指導の



から学び育つとする養育と知識



域・社会の創出に取り組もうとする態度と構え



保育・教育の実践に関する科目

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

こども学科では、乳児から児童まで一貫して支援・教育を行うことのできる人材を養成するために必要な科目を開講し、ディプロマ・ポリシーで設定した4つの力を育成するための教育課程を編成している。

また、4年間で段階的に理論や技術を習得し、それぞれの専門性を高めることのできるカリキュラムを設定している。1年次では保育・教育実践の基礎となる知識に関する理解を深めることに重点を置いている。

2年次では保育・教育にかかわる基礎技能を身につけた上で、段階的に実践へと発展させ、3年次では実習や活動に基づいた応用力や専門力を高め、最終的に、4年次では各自の専門分野における保育・教育現場で応用可能な実践力と専門性を身につけることをめざしている。実施にあたっては、段階的に体験する実習によって理論と実践の融合をめざし、4年間ピアノ教育によって技術力や表現力を高める支援とともに、少人数ゼミによる基礎演習や専門演習で専門性を究める支援を行っている。

なお、こども学科では、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得することができる。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

こども学科では、所定の単位を修得し、以下の4つの力を備えた者に対して卒業を認定し、学士（こども学）の学位を授与する。

1. 子どもの保育・教育に必要な専門的知識を理解している。
2. 保育・教育の課題に主体的に取り組むための論理的思考力が身についている。
3. 子どもの「生きる力」を育むための創造的実践力が身についている。
4. 保育者・教育者として必要な協調性と公共的精神を含む人間力が備わっている。

卒業論文

健康科学の基礎 健康科学に関する基礎的知識を身につけます。 関連する資格 中学校教諭二種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)、保健師 関連する資格 保健師、保健師准士、保健師研修士	保健心理学	211201	保健心理学	211202	保健心理学	221203	保健心理学	311204	保健心理学	351207
	健康科学の基礎	111201	健康科学の基礎	211205	健康科学の基礎	221206	健康科学の基礎	311205	健康科学の基礎	351208
	健康科学の基礎	111202	健康科学の基礎	211206	健康科学の基礎	221207	健康科学の基礎	311206	健康科学の基礎	351209
	健康科学の基礎	111203	健康科学の基礎	211207	健康科学の基礎	221208	健康科学の基礎	311207	健康科学の基礎	351210
健康科学の発展 健康科学の発展に関する基礎的知識を身につけます。 関連する資格 健康科学の発展に関する基礎的知識を身につけます。	健康科学の発展	122301	健康科学の発展	212301	健康科学の発展	222302	健康科学の発展	312301	健康科学の発展	352301
	健康科学の発展	122302	健康科学の発展	212302	健康科学の発展	222303	健康科学の発展	312302	健康科学の発展	352302
	健康科学の発展	122303	健康科学の発展	212303	健康科学の発展	222304	健康科学の発展	312303	健康科学の発展	352303
	健康科学の発展	122304	健康科学の発展	212304	健康科学の発展	222305	健康科学の発展	312304	健康科学の発展	352304
	健康科学の発展	122305	健康科学の発展	212305	健康科学の発展	222306	健康科学の発展	312305	健康科学の発展	352305
	健康科学の発展	122306	健康科学の発展	212306	健康科学の発展	222307	健康科学の発展	312306	健康科学の発展	352306
	健康科学の発展	122307	健康科学の発展	212307	健康科学の発展	222308	健康科学の発展	312307	健康科学の発展	352307
	健康科学の発展	122308	健康科学の発展	212308	健康科学の発展	222309	健康科学の発展	312308	健康科学の発展	352308
	健康科学の発展	122309	健康科学の発展	212309	健康科学の発展	222310	健康科学の発展	312309	健康科学の発展	352309
	健康科学の発展	122310	健康科学の発展	212310	健康科学の発展	222311	健康科学の発展	312310	健康科学の発展	352310
スポーツ指導員の養成 専門的な知識に基づいてスポーツ指導員が指導できるための基礎的知識を身につけます。 関連する資格 コーチ、スポーツ指導員、体育教諭、体育指導員、体育指導員准士	スポーツ指導員の養成	142105	スポーツ指導員の養成	212105	スポーツ指導員の養成	222106	スポーツ指導員の養成	312105	スポーツ指導員の養成	352105
	スポーツ指導員の養成	142106	スポーツ指導員の養成	212106	スポーツ指導員の養成	222107	スポーツ指導員の養成	312106	スポーツ指導員の養成	352106
	スポーツ指導員の養成	142107	スポーツ指導員の養成	212107	スポーツ指導員の養成	222108	スポーツ指導員の養成	312107	スポーツ指導員の養成	352107
	スポーツ指導員の養成	142108	スポーツ指導員の養成	212108	スポーツ指導員の養成	222109	スポーツ指導員の養成	312108	スポーツ指導員の養成	352108
	スポーツ指導員の養成	142109	スポーツ指導員の養成	212109	スポーツ指導員の養成	222110	スポーツ指導員の養成	312109	スポーツ指導員の養成	352109
	スポーツ指導員の養成	142110	スポーツ指導員の養成	212110	スポーツ指導員の養成	222111	スポーツ指導員の養成	312110	スポーツ指導員の養成	352110
	スポーツ指導員の養成	142111	スポーツ指導員の養成	212111	スポーツ指導員の養成	222112	スポーツ指導員の養成	312111	スポーツ指導員の養成	352111
	スポーツ指導員の養成	142112	スポーツ指導員の養成	212112	スポーツ指導員の養成	222113	スポーツ指導員の養成	312112	スポーツ指導員の養成	352112
	スポーツ指導員の養成	142113	スポーツ指導員の養成	212113	スポーツ指導員の養成	222114	スポーツ指導員の養成	312113	スポーツ指導員の養成	352113
	スポーツ指導員の養成	142114	スポーツ指導員の養成	212114	スポーツ指導員の養成	222115	スポーツ指導員の養成	312114	スポーツ指導員の養成	352114

福祉部門 福祉関連の企画を推進するための推進となる方を 身につけます。 関連する資格	スターツ福祉推進専攻 113507	スターツ福祉推進専攻(少子高齢) 123508	213515 243801	343802 353803	395201 435201	
	スターツ福祉推進専攻 113508	スターツ福祉推進専攻(少子高齢) 123509		343801 353802		395201 435201
専門職系 専門知識を活用し、分析する能力を専 門につけます。そして、分析の結果に基づいてはかりやす く判断できる力を養成します。	社会福祉士課程Ⅰ 114101	社会福祉士課程Ⅱ 124101	社会福祉士課程Ⅰ 214102	社会福祉士課程Ⅱ 224102	社会福祉士課程Ⅰ 314103	社会福祉士課程Ⅱ 324103
	心理士課程Ⅰ 114102	心理士課程Ⅱ 124102	心理士課程Ⅰ 214103	心理士課程Ⅱ 224103	心理士課程Ⅰ 314103	心理士課程Ⅱ 324103
			NPC 214104	介護福祉 224105		
					専門職系 395201	専門職系 435201

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

- 1年次：実践からのスポーツ再発見。（ギャップの確認）
- 2年次：実践と理論のスパイラル省察。（問題や課題を自覚しながら工夫する演習）
- 3年次：問題・課題解決への専門的アプローチ。（ゼミ色を活かした取り組み）
- 4年次：問題・課題解決。（卒業論文・就職）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 健康・スポーツ科学の専門知識を修得し、健康の必要性や大切さ及びスポーツの魅力や可能性を伝えることができる。
2. 視野が広く、目配り・気配りができる。
3. 人と人とを結びつけることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 看護に関する多様な知識を理解するため、「人間」・「健康」・「環境」・「看護」からカリキュラムを構成し、科目を設置している。
2. 看護を実践するための基本となる能力、看護ケアの展開能力を修得する科目を設置している。
3. 看護実践能力の修得のための実習を配置している。
4. 保健師教育、教職課程は選択制とする。
5. 主体的な学び、継続的に看護を探究することができる能力を修得できる科目を設置している。

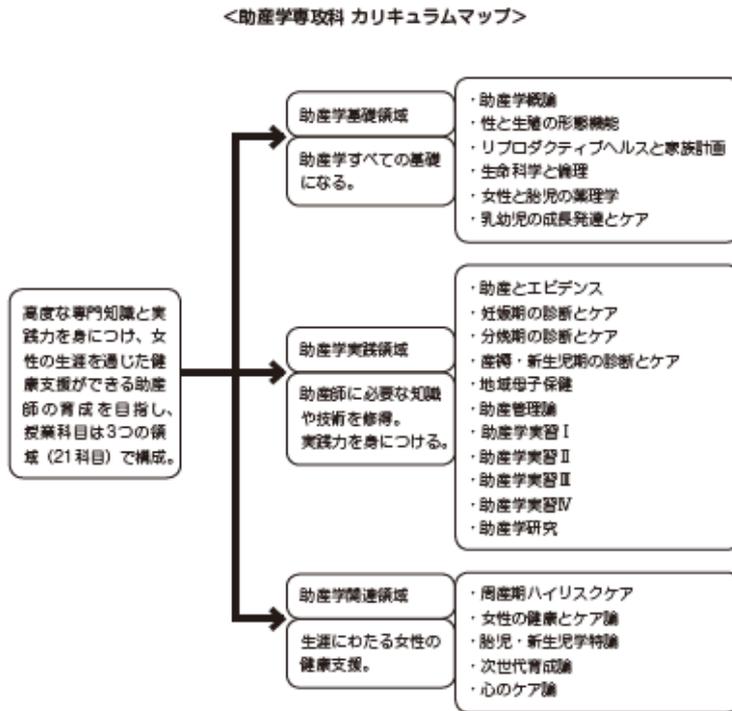
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

高い倫理観に裏付けされた感性を持ち、人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成する。この目標に沿って、設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

1. 人間の尊厳を理解し、倫理観に基づき自覚と責任ある行動をとることができる。
2. 看護の対象となる個人、家族、集団、地域社会の人がもっている問題・課題の問題解決ができる能力を身に着けている。
3. 保健・医療・福祉・教育の関係者、ケアにかかわる職者と協働できる能力を身につけている。
4. 看護実践に必要な基本的技術をもち、多様な実践場面において看護実践に取り組むことができる能力を身につけている。
5. 主体的に行動し、地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている。

(専攻科) 助産学専攻科

<助産学専攻科カリキュラムマップ>



カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

高度な専門知識と実践力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成するために、次のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 助産学基礎領域では、女性の生涯を通じて、性と生殖に焦点を当てて支援する助産の基礎を学ぶ。
2. 助産学実践領域では、妊産褥婦および新生児とその家族を支援する助産実践に必要な基本的技術を学ぶとともに、助産学の発展に寄与するための研究方法について学ぶ。さらに、助産学実習を通して最新の周産期医療に触れ、最新の技術を修得し、実践力を高め、保健・医療・福祉関係者との連携・協働、地域母子保健、助産管理について学ぶ。
3. 助産学関連領域では、生涯にわたる女性の健康支援のための方法やリプロダクティブ・ヘルスについて学ぶ。

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

助産学専攻科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生は、卒業(修了)が認定される。(助産師国家試験受験資格が与えられる)

1. 助産の専門知識と実践力を身につけ、助産師としての基礎的能力を身につけた学生

2. 豊かな人間性と倫理的感応力を培い、助産師としての役割、責任を果たす能力と思いやりのある心を持った学生
3. 高度化する周産期医療に対応し、地域社会の母子保健の発展に寄与する能力を身につけた学生
4. 助産師の責務と役割を自覚し、専門職業人として、生涯に亘り自己の資質の向上に努めることができる学生

(大学院)

経営学研究科 [経営情報学専攻 (修士課程)]

現代の社会・経済・経営環境は、変化が激しくかつ不確実であり、グローバル化とともに ICT (情報通信技術) が高度な発展をみせている。経営学研究科経営情報学専攻は、そうした社会・経済・経営環境に対応する、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、高度で豊かな学識と専門的調査研究能力を身につけた研究者、あるいは専門職業人を養成する。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

本経営情報学専攻では、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、専門知識と課題探究・解決能力を体系的に身につけるために、以下を柱として教育課程を編成している。

1. 経営学分野では経営学・商学・会計学系、経営情報学分野では情報システム・経営科学・プログラミングなど先端情報技術系を中心に、理論的・実践的科目を配置し、きめ細かな研究指導体制により、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の体系的な専門知識の習得を目指す。
2. 上記の専門知識の習得のうえにケース・スタディ研究などを活用し、企業など組織体あるいは地域社会における課題の探究・解決能力を体系的に身につけることを目指す。
3. 以上の成果として、当該分野の専門知識と研究手法に基づいて修士論文を作成する。

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

本経営情報学専攻では、修士課程修了までに学生が身につけるべき知識と能力を、修士 (経営情報学) の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) として以下のとおり定める。

経営学、経営情報学に関する高度な専門知識を有し、自ら設定した課題を探究し、それを論理的に分析、解決する能力を備える。そのうえで、次のいずれかの能力を有する。

1. 経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野で、自立した研究者を目指して博士後期課程に進学できる能力。
2. 経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の専門知識を有する専門職業人として活躍するために必要な能力。
3. 本専攻で修得した経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の専門知識を活かし、幅広い視点から地域社会の課題を把握・分析し、方向性を提示できる能力。

スポーツ健康科学研究科 [スポーツ健康科学専攻 (修士課程)]

本研究科では、ヒトの健康・体力に関する科学をベースに、競技力向上にも及ぶ医学、生理学、心

理学、教育的メカニズムや反応などを追求する。こどもから高齢者に至までの健康と体力づくり、さらに、有限のスポーツ生命の中でいかにして競技力を向上させることができるかを念頭においた、教育・研究を行い、将来の研究者、教育者および指導者につながる人材を養成する。

また、体育科教育学、養護教育学を通じて、実用性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導者の養成にも取り組む。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

健康とスポーツ分野に関する過去と現在の学問的系譜を理解し、次世代に向けての可能性を示唆できる高度専門職業人の育成を目的に、次の方針を示し、教育課程を編成する。

1. 健康とスポーツに関する広範で多様な知識を背景に、応用的・発展的な思考の獲得を目指す。
2. 各講義や演習を通じて、既習知識の活用能力、批判的・論理的思考能力、課題探求・課題解決能力、表現・コミュニケーション能力を備えた健康・スポーツの指導的な人材を育成する。
3. 少人数教育による双方向授業や実験・調査・事例研究などを組み入れ、実践的で生きた柔軟な授業を実施する。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

本研究科を修了後も、時代とともに健康やスポーツに求められる価値は変化している。本研究科で習得した知識やスキルに固執・安堵することなく、常に時代の流れの先にある文脈を読み解き、さらには新奇な知識を積極的に吸収し、発信できる人材が必要である。これらのことから本研究科の修了者には、下記のような能力の定着を求めています。

1. 現代社会の疾病構造変化に対応した専門職としての健康・運動指導者の養成
2. 豊富なスポーツ健康科学に知識を備えた保健体育・養護教諭の養成
3. 一般企業における健康・体力づくりに対応するプロモーター養成

看護学研究科 [看護学専攻（修士課程）]

本研究科では、少子超高齢化社会における看護専門職としての社会的責任を果すため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々の QOL 向上を目指し、生活者の視点で広範、多様化する健康社会を支える高いレベルの実践能力と倫理観を備えた看護専門職を育成する。

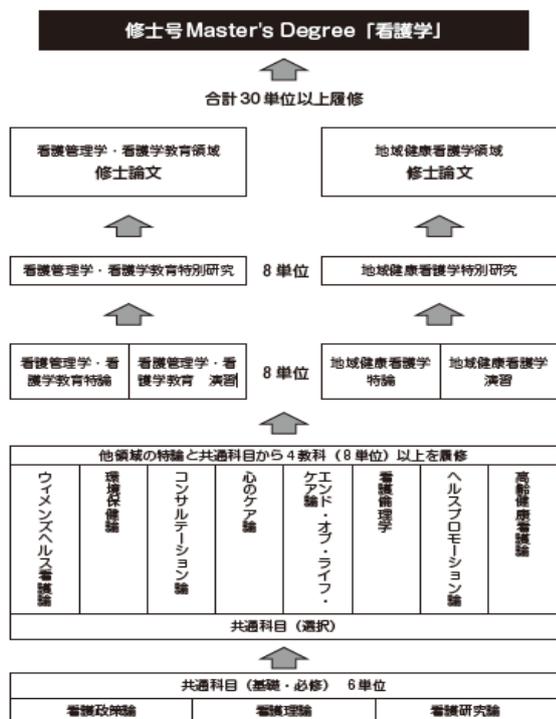
本研究科では、建学の理念を基盤として、人間の尊厳とアドボカシー(advocacy)の志向に根ざし、看護活動の広範化・多様化に応じて、高いレベルの実践能力と倫理観を備え、根拠に基づいた看護を展開しつつ、研究成果を看護の現場に還元することを目的としています。また、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点をもった優れた人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 看護管理学・看護学教育領域：看護専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯教育を実践すると同時に、医療・教育現場でリーダーシップを発揮し、問題解決能力を有する看護実践者・看護管理者・看護教育者を育成。
2. 地域健康看護学領域：看護専門職として根拠に基づく地域の看護実践を行い、継続した研究と生涯

教育を実践すると同時に、生活を視野に入れた地域住民の心身の健康づくりに寄与できるよう、地域健康看護学を身に付けた看護実践者を育成。

<看護学研究科 カリキュラムマップ>



293

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯学習を実践すると同時に、医療・教育現場でリーダーシップを発揮し、問題解決能力を有するもの。
2. 専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯学習を実践すると同時に、生活を視野に入れた地域住民の心身の健康づくりに寄与する能力を有するもの。

【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

<単位認定と成績評価について>

単位

大学の授業は、すべて単位制を採用しています。

単位制とは、授業科目を履修し、定期試験等に合格することによって、単位を修得していく制度です。修得した単位の合計が一定の要件を満たした学生に対して卒業が認定されます。

本学では、開講している授業科目の授業形態、授業方法、時間数等によって、それぞれ単位数が定められています。

単位数の算定方法

- (1) 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間（予習・復習の時間を含む。）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。
- ・ 1日当たりの学修時間はおおよそ8時間
 - ・ 卒業要件 = 124単位の場
 - ・ 1単位 = 45時間（授業1時間 + 予習・復習2時間） × 15回
 - ・ 前期又は後期で修得するべき単位 = 124単位 ÷ 4年間 ÷ 2期 16単位
 - ・ 前期又は後期の学修時間 = 16単位 × 45時間 = 720時間
 - ・ 1週間の学修時間 = 720時間 ÷ 15回 = 48時間
 - ・ 1日の学修時間 48時間 ÷ 6日 = 8時間
- (2) 本学では、授業の方法に応じ、授業に必要な予習・復習の時間(図書館等で行う)を考慮して下表の基準により単位数を定めています。

授業の形式	基準	単位数	授業回数	備考
	1時限90分で行われる授業は、制度上2時間で計算します。			
講義 演習	15時間又は30時間の授業をもって1単位。 (右記は、15時間で1単位の場合)	1単位	7~8	前期又は後期で7回~8回。
		2単位	15	前期又は後期で週1回。
		4単位	30	前期又は後期で週2回。 ----- 年間を通じて週1回。
実験・実習	30時間又は45時間の授業をもって1単位。	学部・学科によって、時間の計算方法が違うので、授業回数は異なります。		

単位認定の時期

履修した科目の単位認定は、原則として試験によって行われます。

但し、科目によっては、出席・レポート等によって行われる場合があります。

通年科目の場合は、年間(後期終了)の成績で単位が認定され、半期科目(前期終了または後期終了)の場合は、半年間の成績で単位が認定されます。

原則として、いったん認定された単位の取り消しや成績評価の変更はできません。

成績評価と単位認定

<成績評価>

成績評価	成績評価の内容	意味	単位認定	Grade Point	備考
秀	100点～90点	特に優れた成績	認定	4点	
優	89点～80点	優れた成績	認定	3点	
良	79点～70点	良好な成績	認定	2点	
可	69点～60点	良好には達していないが合格の成績	認定	1点	
不可	59点～0点	合格と認められない成績	不認定	0点	不正行為をした場合も含む。
放棄	受験資格はあったが、定期試験を受験しなかった場合、あるいは授業の出席回数が不足していて、受験資格がなかった場合		不認定	0点	

GPAについて

(1) GPA(Grade Point Average)は、アメリカを始め、諸外国の大学で採用されている国際的な成績評価システムのことです。

(2) 履修した全科目の成績評価に対して、Grade Pointを設定し、1単位あたりの平均を数値化するものです。

■ GPA の目的

学生は、自らの学業成績の状況を的確に知ることができるため、学生各自に応じた履修計画を立てることができます。

■ GPA を計算してみよう!

科目数等を検討する必要があります。

■ GPA の計算に伴う、履修上の注意点

定期試験を受験しなかった、または受験資格がなかったことにより、成績評価が「放棄」になった場合も「不可」と同様、Grade・Point は「0点」としてGPAの値に反映されます。

しかし、履修登録をしたけど、授業内容が思っていたものと異なっていて履修を取り止めたい場合は、履修申請確認期間中又は履修辞退手続期間中に手続きをすれば、「放棄」とは見なされず、GPAの値には反映されません。

■ GPA の値が1.5 を下回らないよう、注意すること。

卒業できるよう、段階的な措置（修学指導等）を行います。

<進級・卒業の要件>

年次別履修科目の上限及び進級・卒業要件は、各学部・各学科ともに「福山平成大学授業科目履修細則」で規定されており、全学教授会において進級・卒業判定を行なっている。また、1年間に履修できる単位数は、各学年いずれもが、前期と後期を合わせて48単位を超えることはできないし、学期毎（前期・後期）の履修上限は経営学部は24単位、福祉健康学部・看護学部は28単位と定められている。

本学の教育課程は、一般教育科目と専門教育科目に大別される。一般教育科目は、4年間で教養基礎科目及び外国語を含めて、経営学部・福祉健康学部は28単位、看護学部は24単位である。専門教育科目は、各学部で異なり、経営学部・福祉健康学部は96単位、看護学部は104単位である。各学年の進級要件を満たさないものは留年とし、在学中2回を超える留年及び同一年次に2回の留年は認められていない。

表 6.1 経営学部 経営学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		56		90	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目 (体育科目を含む)	12		18	18
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	4		6	6
専 門 教 育 科 目		96			

表 6.21 福祉健康学部 福祉学科・こども学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		30	56	88	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目 (体育科目を含む)	18			
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	6			
専 門 教 育 科 目		20	40	66	96

表 6.22 福祉健康学部 ・健康スポーツ科学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		30	56	88	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目 (体育科目を含む)	18			
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	6			
専 門 教 育 科 目		18	36	60	96

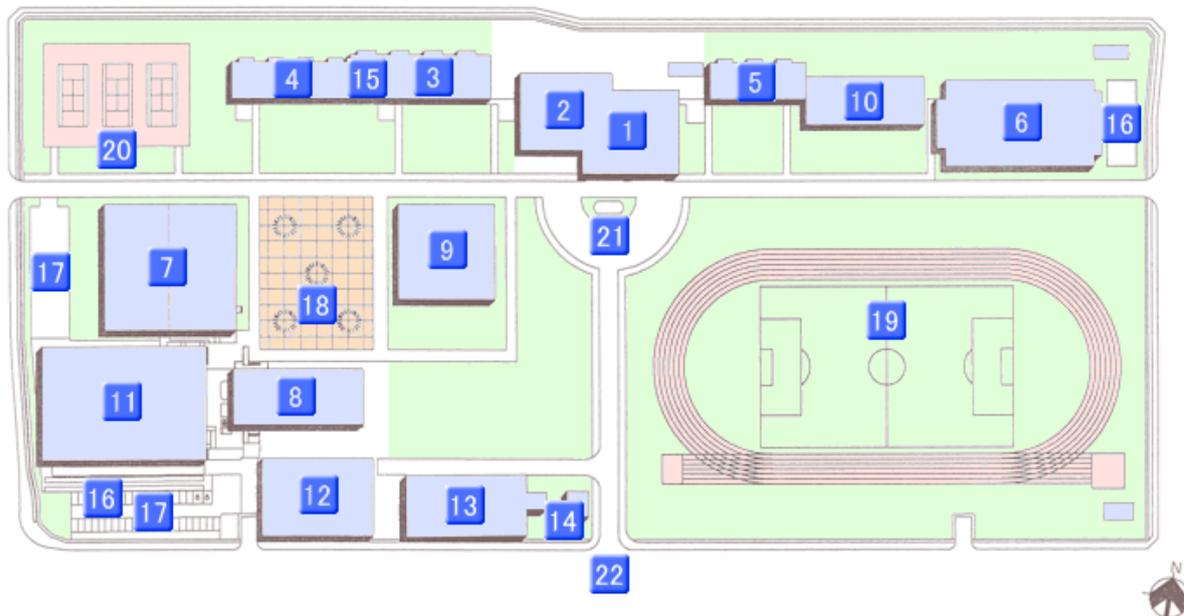
表 6.3 看護学部 看護学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数		32	70	110	128
一般教 育科目	教養基礎科目	24			
専 門 教 育 科 目		23	58	97	104

【7】校地、校舎等の施設及び設備その他教育研究環境に関すること

<施設設備>

本学の校地面積は次図に示すとおり 8,065,228 m²であり、校舎の床面積は 3,410,600 m²である。



1	1号館 事務棟	12	12号館 看護学部棟
2	2号館 研究棟	13	13号館 こども学科棟
3	3号館 講義棟	14	守衛室
4	4号館 講義棟	15	学生ホール
5	5号館 特別教室棟・コンピュータ演習室	16	駐輪場
6	6号館 第1体育館	17	駐車場
7	7号館 講義棟・トレーニングセンター	18	プラザ
8	8号館 食堂・売店	19	全天候型グラウンド
9	9号館 図書館	20	テニスコート
10	10号館 武道館・クラブハウス棟	21	噴水
11	11号館 第2体育館	22	正門

図 7.1 本学のキャンパス全体図

- 1) 運動場は、全天候型のウレタン舗装 400mトラック 6 レーンとインフィールドに人工芝のサッカー場を備え、トラックの周辺には、棒高跳び、ビーチバレーボール用の砂場等が整備されている。更に夜間でも使用可能なように、4 基の照明を設置している。グラウンド内休憩施設を整備した。
- 2) 体育館は第 1、第 2 と二つあり、第 1 体育館は運動場と武道館・クラブハウス棟（10 号館）に、第 2 体育館はトレーニングルーム等のある 7 号館にそれぞれ隣接している。特に、第 2 体育館は、国際大会に公式使用できるバレーボールコートが 2 面取れるようになっており、他にゲーム用バレーボール 3 面、バスケットボール 2 面、ハンドボール 1 面、フットサル 1 面、バドミントン 8 面が兼用コートとして使用可能である。さらに、第 2 体育館の玄関ホールには、クライミングウ

ホールが設置され、2階には、器械体操（鉄棒、あん馬やつり輪等）、卓球、ボクシングジムの施設も整備されている。また、人工芝の夜間照明付きテニスコート4面、柔道・剣道専用の武道館がある。

3) 講義室は、3、4、7号館の講義棟に16室、看護棟に5室、図書館に2室の計23室を設置している。また、実習室は、2号館・看護棟に10室、こども学科棟に15室（ピアノレッスン室を含む。）の計25室を、ゼミ・演習室は、1・2号館と看護棟に12室を整備している。

平成28年3月には、2号館ゼミ室をアクティブラーニングに相応しい教室に改変し整備し、学生が主体的に自己学修、ディベートやプレゼンテーションが出来るようにするとともに多様な形態に展開できる机・椅子類と電子ホワイトボードを整備した。

4) 附属図書館は、平成30年5月1日現在で蔵書数=90,020冊、学術雑誌タイトル数=518件を保有し、閲覧座席数=200席である。開館時間は月曜日～金曜日の8時30分から19時30分、土曜日は16時30分まで、本学の学生だけではなく、平成29年度には141人の地域住民の利用に供している。また、学生の自主的な学習やグループ学習を支援するために、ラーニングコモンズ室を2室・語学学習室を1室整備されている。

5) 本学は、全学生の情報処理能力を向上させるために、情報基盤センターを設置している。このセンターでは、5号館のコンピュータ室(4室)に、180台のパソコンを設置している。講義に使用されており、学生は講義時間以外に自由に使用することができる。上記コンピュータ室の他に、看護学部棟に58台、図書館閲覧室に検索用パソコン13台が設置されている。また、平成26年度から、校内での無線LANの利用が可能となっている。

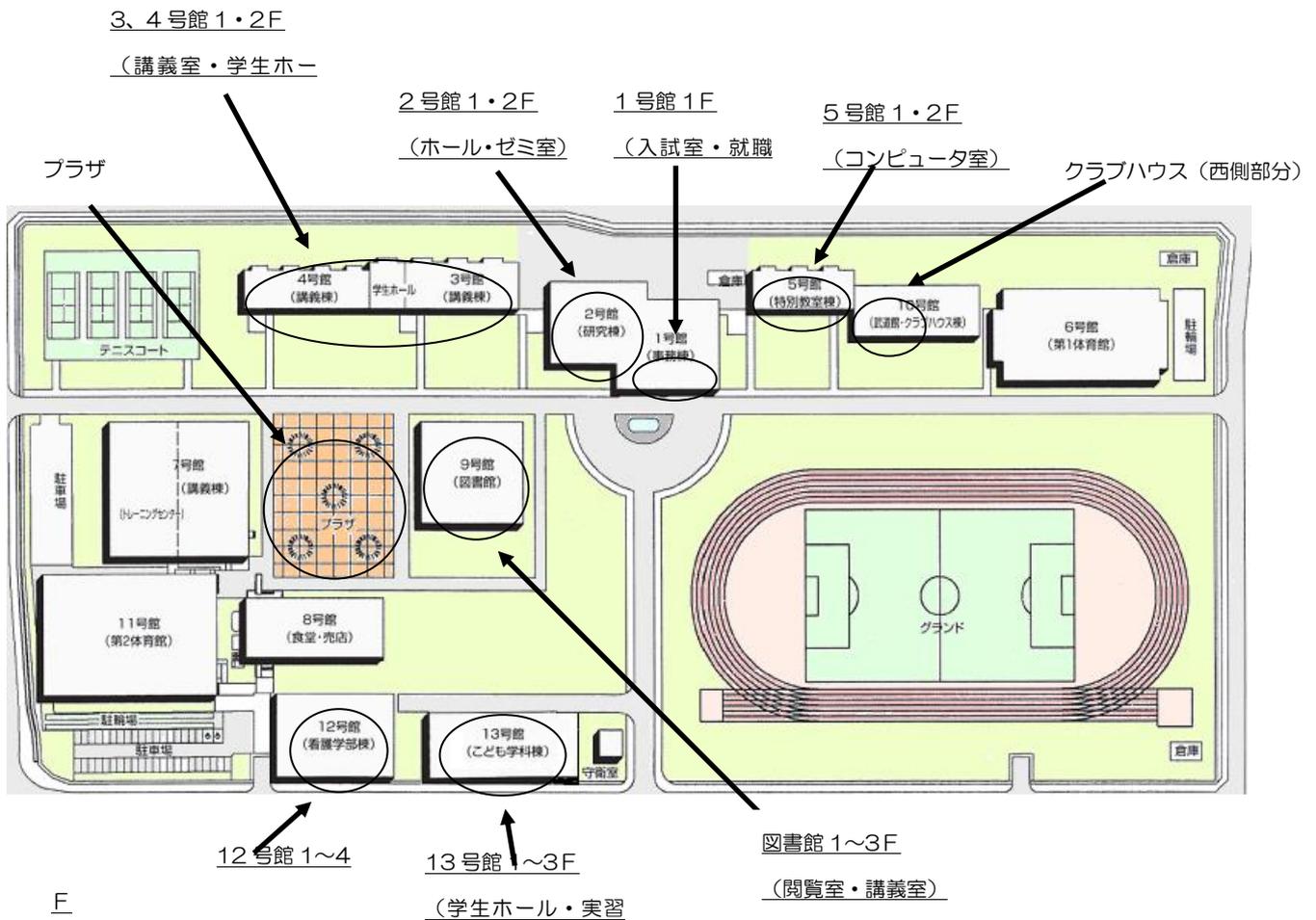
6) 学内LANの整備により、すべての建物で有線によるインターネット接続が可能となっている。また、ノートパソコン、タブレット端末、スマートフォン等のモバイル機器を用いた学生の自主学習や就職活動のために活用するシステムとして、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を導入し、学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」を用いたきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」を整備した。

さらに、「学生ポータルシステム」として学修支援システムを導入、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオの作成も可能である。また、自宅学習に利用でき、アクティブラーニングにも活用できる「eラーニングシステム」を整備した。平成28年4月から学生、教職員向けにoffice365ProPlusなどのオフィス製品や関連するクラウドサービスが利用できる「Office 365」を整備した。

平成29年度の入学生から、これらの環境を積極的に活用して、授業でのICT利用を推進する目的でノートパソコンの必携化に取り組んでいる。これに伴う無線ネットワーク設備の拡充、看護教育用シミュレーション機器の整備をした。

(以上のシステムについて学内ポータルシステムとして次項に説明掲載)

無線LAN使用可能エリア



7) 平成 21(2009)年度及び平成 22(2010)年度に、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を、学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」に基づいてきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」に改変した。さらに、看護学部において開発された看護実践能力到達度評価システムを加えて、学生支援総合システムとして平成 23(2011)年度から「ゼルコバ」の愛称で本格運用を開始している。ゼルコバはポータルサイトシステムとなっており、ユーザー（学生及び教職員）は履修支援、就職支援等のシステムだけでなく、掲示板、メッセージ転送、スケジュール管理、ファイル管理等の機能も使用できる。ゼルコバの管理・運用、ユーザーの使用は、すべて web ブラウザを使用して web ベースで行われる。学生は、学内無線 LAN システムを使用して、学内からアクセス可能になっている。また、学外からもアクセス可能であるので、履修登録、履修確認、成績確認等、自宅からも使用できる環境を整えている。

平成 27(2015)年度から、web 活用とモバイル機器利用に親和性の高い学修支援システム (LMS: Learning Management System) として「セレッソ」を追加導入した。授業では、スマートフォンやタブレット端末による出席管理、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオも作成できる。また、自宅学習にも利用でき、アクティブラーニングの作業環境のひとつにもなっている。

本学の学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office365ProPlus などのオフィス製品や関連するクラウドサービスを利用できる。

(整備状況は以下の通り)

・学内ポータルシステム (学生・教職員ポータルシステム)

福山平成大学 学生・教職員ポータルシステムは、本学に所属する学生・教職員に対する情報発信・情報共有のための電子窓口である。

教育・研究や管理運営業務に必要な諸情報の提供を目的としている。

学生・教職員ポータルシステムには、教務や就職などの情報を閲覧できる Zelkova、学修を支援する Cerezo、自宅学修を支援する Moodle などのシステムが整備されている。

■学生ポータルシステム Zelkova (ゼルコバ)



Zelkova (ゼルコバ) は、教務、学生生活、進路・就職など、平大生に必要な情報を幅広く提供するポータルシステムである。

■学修支援システム Cerezo (セレッソ)



Cerezo (セレッソ) は、大学の授業や家庭での予習・復習など、学修を総合的に支援するシステムである。出席の確認、教材の配布、お知らせの掲示、レポートの提出、小テストの実施、質問の受付・回答などを行う。さらに、本学では入学前教育に Cerezo を活用している。

平成 30(2018)年度から、セレッソに対応した e ラーニングの学習教材を導入した。ネットワーク環境を通して、学内や自宅などの様々な場所で活用することができる教材には「SPI・CAB・GAB」、「エアパスポート試験学習教材」、「日商簿記 3 級対策コース」、「TOETC 入門編、TOETC 実践編」を導入している。

■オフィス製品・関連クラウドサービス Office365 (オフィス 365)



福山平成大学は、学修・教育環境の整備、学生サービスの向上などを図る目的で、マイクロソフトと教育機関向けソフトウェアライセンス総合契約を締結している。

＜施設設備の維持・運営＞

- 1) 本学の施設設備の全般的な管理運営は、事務局（管理＝庶務課、運営＝学生課）が担当している。本学の敷地は、校舎、グラウンド、通路以外は全面芝生が敷き詰められ、桜と欒並木、クスノキやバラの花壇もがあり、また、校舎は低層で校舎間の空間も広いので、ゆったりとした快適な環境で、学生が学習やクラブ活動に専念できるようになっている。
- 2) 各講義室・トイレは毎日清掃し、清潔感を保持しており、女子学生から喜ばれている。また、女子学生が半数以上になったので、学園内を明るくするために夜間照明の整備も進めている。
- 3) 建物は建築基準法の規定により、毎年1回、構造、防火等建築設備に関して現状調査を行っており、上水、下水の水質検査や昇降機も法令にのっとり、定期的に点検調査を実施している。また、平成25年度には障害学生のために、8号館にエレベーターの設置などバリアフリー化も進めている。
- 4) グラウンド(休憩施設含む。)、テニスコート、体育館・武道館、トレーニング室等体育施設は、体育施設運営委員会が学生課と連携しながら管理運営に当たっている。それら施設の使用心得は、学生便覧に記載し、周知徹底を図っている。
- 5) 附属図書館については、利用の手引き・心得を学生便覧に記載するとともに、新入生には、毎年4月のオリエンテーション時に利用のための講習会を開催している。
- 6) 情報サービス施設の維持運営には、コンピュータ準備室を設置し、大学教育センターの助教・助手を常駐させることで、機器の適切な操作や管理を行うとともに、必要に応じて順次新型機器への更新を進めている。

【8】授業料、入学料等

【学 部】

	経営学部		福祉健康学部		看護学部	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入学金	円 330,000	円	円 330,000	円	円 330,000	円
授業料	(前期分) 400,000	(後期分) 400,000	(前期分) 430,000	(後期分) 430,000	(前期分) 700,000	(後期分) 700,000
小 計	730,000	400,000	760,000	430,000	1,030,000	700,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後援会	20,000		20,000		20,000	
小 計	25,000		25,000		25,000	
合 計	755,000	400,000	785,000	430,000	1,055,000	700,000

【大学院】

	経営学 研究科		スポーツ健康科学研究科		看護学 研究科	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入学金	円 200,000	円	円 200,000	円	円 200,000	円
授業料	(前期分) 320,000	(後期分) 320,000	(前期分) 350,000	(後期分) 350,000	(前期分) 450,000	(後期分) 450,000
小 計	520,000	320,000	550,000	350,000	650,000	450,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後援会	10,000		10,000		10,000	
小 計	15,000		15,000		15,000	
合 計	535,000	320,000	565,000	350,000	665,000	450,000

【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

<学生の修学・就職・生活指導>

(クラス担任制度及び学生委員会)

本学では、開学以来、学生の入学時から卒業まで、クラス担任教員が修学・生活指導・就職指導に関する相談・助言を行うことにしている。一時的には、この教員が学内の保証人的な役割を果たす。

また、全学的な組織としては、学生委員会があり、クラス担任教員や事務局と連携し、キャンパス内の食堂のメニュー調整、喫煙エリア、コンビニ・売店及び銀行の現金自動支払機の設置など、学生の快適な学園生活の改善に努めている。また、かざすだけで学内の食堂、コンビニの清算が可能な後払い型電子マネー機能を搭載し授業の出欠管理、図書館の入退館の多機能な学生証を整備した。

<経済的支援>

1) 福山平成大学奨学金制度

「学校法人福山大学奨学生規程」が定められている。福山大学又は福山平成大学の入学者のうち、学業成績、人物ともに優秀で、将来社会の指導的人物となり得る人材に奨学金を授与して積極的にその育成に資することを目的としている。奨学生には一般奨学生と特別奨学生がある。一般奨学生は、本学に入学後学業成績優秀な20人程度の学生に対して、当該年度授業料のうち30万円を免除している。特別奨学生は、一般入学試験(前期A日程)の合格者のうち成績優秀な者(毎年30人程度)に対して授業料の40/100(看護学部は30/100)を免除するものである。

2) 学校法人福山大学奨学生

本学では、学業成績優秀、品行方正であり、他の学生の模範になると認められる者に奨学金を授与して積極的にその育成に資することを目的とした4種類の独自奨学制度を設けている。

①一般奨学生

本学に入学後、2年次以上の者における前年度の学業成績優秀な者のうち、福山平成大学奨学生選考部会で毎年若干名を選考し、当該年度の授業料のうち、30万円を減免する。

②特別奨学生A

特別奨学生Aは、推薦入試(A日程・B日程)、一般入学試験【前期(A日程・B日程)・後期】、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)の合格者で、入学試験の成績が優秀な者のうちから選抜する。一般入試(前期A日程)は約30名、その他の入試は若干名として選抜する。特別奨学生Aとして入学する者について、入学年次の授業料について100分の40を減免するとともに、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が75点以上の場合に限る。

③特別奨学生B

特別奨学生Bは、指定校入学試験の合格者のうち、高校に通知する評定平均値を上回る者を選考し、入学金を15万円に減免するとともに、入学年次の授業料について看護学部には100分の30を、その他の各学部には100分の40を減免し、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が75点以上の場合に限る。

3) 日本学生支援機構奨学生

平成 28 年 7 月現在の日本学生支援機構奨学金を貸与された学生数は次のとおりであり、全学生の 57.9% の者が貸与されている。

表 9.1 日本学生支援機構奨学生採用状況

(単位:人)

種別/学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
第 1 種奨学金	72	61	47	58	238
第 2 種奨学金	110	165	71	76	422
合計	182	226	118	134	660

4) その他の奨学金制度

上記以外に、次の奨学金を受けている者がいる。

文部科学省私費外国人留学生学習奨励給付制度、広島国際センター、熊平文化財団、鹿児島県育英会、松永育英奨学会、山口県ひとづくり財団、あしなが育英会、福山市奨学資金、島根県育英会、岩国市教育委員会 etc.

5) アルバイトの紹介

本学では経済的理由などから、止むを得ずアルバイトをしなければならない学生のために、学生課において企業などからアルバイト求人の申込みがあれば、その求人票を学生ホールの掲示板に掲示して紹介している。但し、危険を伴う作業や深夜に及ぶ業務並びに風俗営業等は禁止している。

6) 入学金減免制度

同窓生の子弟及び在学生の兄弟姉妹に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度を実施している。同窓生及び在学生とは本学に加え福山大学も含まれている。本学の入学金は 330,000 円であるが、減免後は 200,000 円となる。

<課外活動への支援>

・クラブ活動助成

学生のクラブ活動には、大学、後援会及び同窓会で助成している。

<健康相談等>

(1) 保健管理センター

学生の健康管理のために保健室を設けており、月曜日から土曜日には看護師免許を持った職員が常駐している。これ以外の時間帯は学生課で対応している。学生には体調が悪くなった時や怪我をした時には、このセンターを利用することを勧めている。また、悩みのある学生には月・火曜日に学生相談室を開室しており、学外の非常勤カウンセラー 1 名と教員 1 名（ともに臨床心理士資格あり）が 1 日ずつ学生や教職員、保護者の相談に対応している。

定期健康診断は毎年1回4月下旬に実施し。看護師職員から診断結果により学生に健康指導を行う。また、就職活動に必要な健康診断証明書を発行できるようにしている。

(2) 学生教育研究災害障害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために「学生教育研究災害障害保険」に大学及び後援会の負担で全学生を加入させている。また、スポーツ活動中や臨地実習・教育実習中の事故等のため、賠償責任保険に加入することを勧めている。

<学生の意見汲み上げシステム>

毎年、学生生活に関するアンケートを1～3年生を対象に行っている。アンケート内容は、「生活での悩み」、「通学状況」、「生活状況」、「アルバイト状況」、「学生の意見・要望」などである。その集計結果を保証人懇談会資料に掲載し、保証人に配付している。特に、「学生の意見・要望」については、できるものから改善している。

授業アンケート、担任制度、保証人懇談会等は学生サービスに対する学生や保証人の意見等を汲み上げるシステムとなっている。

【10】沿革

昭和 50 年 1 月 10 日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可 理事長、学長に宮地茂就任
平成 4 年 4 月 30 日	学校法人福山大学、福山平成大学設置認可申請
平成 5 年 12 月 21 日	福山平成大学「経営学部経営情報学科（入学定員 130 人、編入学定員 20 人）、同経営法学科（入学定員 100 人、編入学定員 20 人）、同経営福祉学科（入学定員 80 人、編入学定員 20 人）」設置認可
平成 6 年 4 月 1 日	福山平成大学開学 初代学長に久留島陽三就任
平成 6 年 4 月 10 日	第 1 回入学式挙行
平成 6 年 5 月 1 日	学校法人福山大学総長に宮地茂理事長就任
平成 7 年 4 月 1 日	学校法人福山大学理事長に宮地尚就任
平成 8 年 4 月 10 日	第 1 回第 3 年次編入学生入学
平成 10 年 3 月 22 日	第 1 回学位記授与式（卒業式）挙行
平成 11 年 4 月 1 日	二代学長に齊藤尚夫就任
平成 11 年 12 月 22 日	福山平成大学大学院「経営学研究科（修士課程）経営情報学専攻（入学定員 5 人）、同経営法学専攻（入学定員 5 人）」設置認可
平成 12 年 4 月 1 日	福山平成大学大学院経営学研究科、経営情報学専攻、経営法学専攻開設
平成 14 年 3 月 22 日	第 1 回大学院経営学研究科学位記授与式（卒業式）挙行
平成 14 年 3 月 28 日	福山平成大学経営学部経営福祉学科に「保育士を養成する学校その他の施設として指定」認可
平成 14 年 4 月 1 日	学長事務取り扱いに宮地尚就任
平成 14 年 7 月 1 日	三代学長に大門隆就任
平成 14 年 9 月 4 日	「経営法学科」を「ビジネス法学科」に平成 15 年 4 月 1 日から学科名称変更認可
平成 15 年 7 月 24 日	経営福祉学科を改組し、福祉健康学部福祉学科（入学定員 80 人）、健康スポーツ科学科（入学定員 70 人）届出認可
平成 16 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設

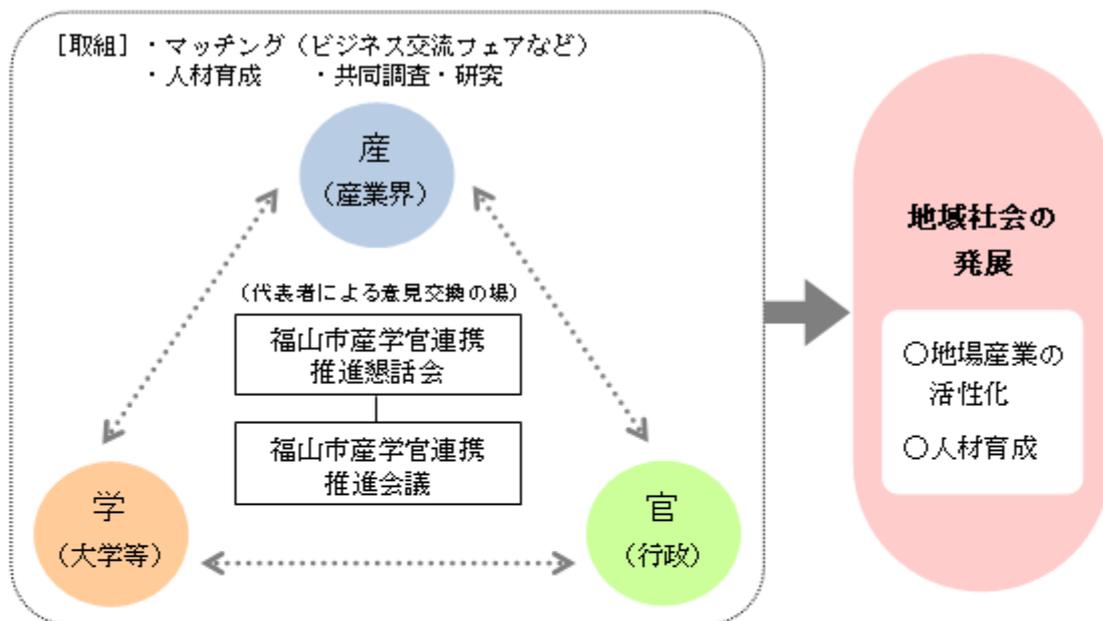
平成 17 年 4 月 1 日	四代学長に田口則良就任 福祉健康学部健康スポーツ科学科入学定員増（70人→100人） 経営学部ビジネス法学科学生募集停止
平成 18 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻（入学定員40人）、幼児保育学専攻（入学定員40人）開設
平成 18 年 11 月 30 日	看護学部看護学科（入学定員80人）設置認可
平成 19 年 4 月 1 日	看護学部看護学科開設
平成 20 年 3 月 24 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 20 年 4 月 1 日	「経営学部経営情報学科」を「経営学部経営学科（入学定員100人）」に名称変更 福祉健康学部こども学科（入学定員50人）を開設、福祉健康学部福祉学科入学定員減（80人→60人）
平成 20 年 10 月 31 日	大学院スポーツ健康科学研究科(修士課程)（入学定員5人）設置認可
平成 20 年 12 月 24 日	大学院看護学研究科(修士課程)（入学定員5人）設置認可
平成 21 年 4 月 1 日	大学院スポーツ健康科学研究科、看護学研究科開設
平成 22 年 4 月 1 日	経営学部経営学科入学定員減（100人→50人）
平成 23 年 4 月 1 日	助産学専攻科（入学定員10人）開設
平成 23 年 6 月 1 日	学校法人福山大学理事長に清水厚實就任
平成 24 年 4 月 1 日	看護学部到新保健師養成課程の認可
平成 26 年 10 月 22 日	平成 26 年度「私立大学等教育研究活性化設備事業」に採択 (事業名称:学修総合支援システムの充実 「学生の学修支援環境の整備」)
平成 27 年 3 月 10 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 27 年 11 月 18 日	平成 27 年度「私立大学等教育研究活性化設備事業」に採択 (事業名称:アクティブラーニングのための什器等の整備)
平成 29 年 4 月 1 日	五代学長に坪井 始就任
平成 30 年 5 月 27 日	学校法人福山大学総長に清水厚實就任 学校法人福山大学理事長に鈴木省三就任 現在に至る

【11】上記以外の情報（産学官連携、社会貢献活動、大学連携、高大連携等の推進について

（産学官連携）

平成26年4月7日 福山市において、産学官が経済、教育、福祉など幅広い分野で連携し、地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成等に取り組むことで、地域社会の発展をめざし整備されました。

（1）体制



【構成団体】

産	福山商工会議所，神辺町商工会，沼隈内海商工会，福山北商工会，福山あしな商工会
学	福山大学，福山平成大学，福山市立大学，福山職業能力開発短期大学校
官	福山市経済部，企画政策部

（2）主な取組

「若者の就職観・結婚観などに関するアンケート」を実施しました

福山市産学官連携推進会議における共同研究として、福山市内の学校に在籍する現役の大学生等を対象に、就職観等のアンケート調査を実施し、その集計結果をまとめました。

【調査目的】 福山市の人口流出を防ぐため、「福山市内の企業に就職したい」、「福山市を離れても戻ってきたい」と思える環境づくりについて、調査・研究を行い、若者の就職観・結婚観の醸成等、人口減少対応施策を打ち出していくための土台づくりに取り組みます。

【調査対象】 福山市内の学校（福山大学、福山平成大学、福山市立大学、福山職業能力開発短期大
学校）に在籍する現役の大学生と大学院生から1,515人を抽出しました。

【調査結果の活用について】 ・産学官で連携してアンケート結果を分析し、「若者の就職・定住に向けた環境づくり」対策の検討・研究を行います。

・福山市内企業へ結果を情報提供することで、雇用の際の参考にしていただき、地元の経済や産業の活性化につなげます。行政は、今後の施策に反映できるよう研究を行います。

【集計結果・調査票】

01 学生アンケート（集計結果） [PDF ファイル／811KB]

02 学生アンケート（調査票） [PDF ファイル／445KB]

（引用資料：福山市産学官連携ポータルサイト）

(社会貢献活動)

29 福山平成大学公開講座

■平成29年度事業内容

福山平成大学は開学以来、教員の研究成果を地域社会に公開し、社会の人々に、生活及び職業上の専門的な知識と一般教養を高める学習機会を提供し、生涯学習の振興と文化的、産業・経済的な発展に寄与するよう開催しています。

本講座では、「歴史から考える将来への展望」の視点から、家庭・地域・社会・世界と関わるさまざまな問題を考え、提言します。健康スポーツ科学科の楠本教授から「我が国のメンタルトレーニングの流れ」、こども学科の山崎教授から「「教室空間」と「学習スタイル」の歴史」、看護学科の佐竹講師から「子どもの夜間受診の過去・未来」、福祉学科の大深准教授から「障害者の権利獲得に関する歴史的変遷とその思想」、経営学科の市瀬教授から「中国出世物語—科学の明暗—」を計画しました。

(内容)

テーマ「歴史から考える」

第1講 我が国のメンタルトレーニングの流れ

9月14日(木) 楠本 恭久 教授(健康スポーツ科学科)

第2講 「教室空間」と「学習スタイル」の歴史

9月21日(木) 山崎 洋子 教授(こども学科)

第3講 子どもの夜間受診の過去・未来

9月28日(木) 佐竹 潤子 講師(看護学科)

第4講 障害者の権利獲得に関する歴史的変遷とその思想

10月5日(木) 大深 俊明 准教授(福祉学科)

第5講 中国出世物語—科学の明暗—

10月12日(木) 市瀬 信子 教授(経営学科)

日時：9月14日(木)～10月12日(木) 毎週木曜日全5回 18:30～20:00

会場：福山平成大学7号館大講義室 <http://www.heisei-u.ac.jp/info/map.html>

主催：福山平成大学

後援：福山市 福山市教育委員会

29実績

平成29年公開講座	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
申込数	114	109	109	112	120
参加	83	80	78	79	75



福山平成大学 看護学部による 健康講座

受講料は無料。
どなたでも参加できます。

平成29年度 地域交流センター事業 看護学部公開講座 一覧

水曜 18:00～19:30				
前期講座	月	日	テーマ	簡単な内容紹介
	6月	28日 (水)	転倒予防について	転倒を予防するための体作りや、屋内での転倒危険箇所について学びましょう。
	7月	26日 (水)	あなたの体、血管は大丈夫ですか？ －減塩食・低脂肪食の秘訣－	体組成・血管年齢を測定し、自己の動脈硬化・健康度を知り、食事療法の必要性にと具体的方略についてともに考える。(減塩食の試食)
	8月	23日 (水)	健康寿命を延ばすために大切な骨密度 －あなたの骨は強い？もろい？－	自分の骨密度を知りましょう。(骨密度を測定します。)いつまでも、いきいきと元気で生活するためのポイントについてお話しします。また骨密度を維持する方法について一緒に考えていきましょう ※当日は動きやすい服装でご参加ください。また、骨密度は裸足になって測定します。簡単に脱げる靴下等でお越しください。
	9月	27日 (水)	看護学生になってみよう！	看護学科にある様々なシミュレーターを紹介し、看護技術を獲得するための演習の状況について知ってもらうとともに、自らの身体理解にもつなげる。
水曜 18:00～19:30				
後期講座	月	日	テーマ	簡単な内容紹介
	後期講座につきましては8月中旬以降にお知らせ致します			

- 会場 / 福山平成大学12号館(看護学部棟)1階 地域交流センター
- 開催日時 / 毎月第4水曜日18:00～19:30
- 申込・問合せ先 / 福山平成大学看護学部事務室
〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1
☎084-972-5001(内線2701・2702)
- 申込方法 / 所定の申込往復ハガキに所要事項を記入の上、郵送または持参。
FAXにてお申し込みの場合はチラシ裏の申込み欄に必要事項ご記入の上、FAXしてください。
※電話番号は必ず記載してください。
- 申込締切 / **前期講座:平成29年6月14日(水)消印有効**
※申込多数の場合は、先着順により受講者を決定いたします。あらかじめご了承ください。
※申込み締切り後であっても定員に余裕があれば、受講可能ですので、ご連絡ください。
※希望のテーマの回のみのお申し込みも受け付けています。

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL:084-972-5001(代) FAX:084-972-7696



福山平成大学 看護学部による 健康講座(後期)

受講料は無料。
どなたでも参加できます。

平成29年度 地域交流センター事業 看護学部公開講座 一覧

月	日	テーマ	簡単な内容紹介
土曜 10:00~11:30			
10月	7日(土)	健康教育	保健師課程の学生による健康教室
水曜 18:00~19:30			
10月	25日(水)	退院後の生活に役立つ知識	退院後の療養生活を支える制度やサービスを知って、より良い在宅生活を送りましょう。
11月	29日(水)	孫育てー子どもの遊びー	忙しいお母さん、お父さんに代わり孫と関わるときに、子どもにとってのよい遊びを紹介します。孫との遊びを通して、楽しく、心豊かになりましょう。
12月	20日(水)	心の健康	ハンドマッサージを行うことで、精神的リラックスやストレス減少の効果を高めることが、心の健康に役立ちます。
1月	24日(水)	回想法で若返り	回想法の理論を学び、参加者同士で若かりし頃の思い出を語り、若返りしましょう。
2月	21日(水)	コツコツと運動、健康生活	肩こり・五十肩の健康運動、足のしびれ、冷え性の健康運動と一緒に、しなやかな身体づくりを学びましょう。

- 会場 / 福山平成大学12号館(看護学部棟)1階 地域交流センター
- 開催日時 / 毎月第4(3)水曜日18:00~19:30 ※健康教育(10/7)のみ土曜日10:00~11:30
- 申込・問合せ先 / 福山平成大学看護学部事務室
〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1
☎084-972-5001(内線2701・2702)
- 申込方法 / ・所定の申込往復ハガキに所要事項を記入の上、郵送または持参。
・FAXにてお申し込みの場合はチラシ裏の申込み欄に必要事項ご記入の上FAXしてください。
※電話番号は必ず記載してください。
- 申込締切 / **後期講座:平成29年9月22日(金)消印有効**
※申込多数の場合は、先着順により受講者を決定いたします。あらかじめご了承ください。
※申込み締切り後であっても定員に余裕があれば、受講可能ですので、ご連絡ください。
※希望される講座のみの申し込みも受け付けています。

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL:084-972-5001(代) FAX:084-972-7696

幼児期から親子ではじめる性教育

～親子で学びのちの大切さ～

2017



このたび、3回シリーズで幼児と保護者を対象に下記プログラムを企画しました。

このプログラムは、①先入観のない幼児期に親子で性教育を学ぶことで、子どもが恥ずかしがらずに相談できる親子関係をつくること、②いのちの大切さを学び、自分も周囲の人も大切にできる心を育むことを目的とする心と体の健康教育です。

★親子（きょうだい）一緒にご参加ください。

途中参加も大歓迎！

	月日(曜)	対象年齢	時間	テーマ<教材>	場所
第1回	5月28日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	はじめましてあかちゃん <エプロンシアター>	福山平成大学 母性看護 実習室 (12号館1階)
		5～6歳	11:00～12:00	赤ちゃんになって生れる体験 <エプロンシアター・手作り産道>	
第2回	6月18日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	生まれてきてくれてありがとう <ペーパーサート>	
		5～6歳	11:00～12:00	大切なからだ <パネルシアター>	
第3回	7月30日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	男の子と女の子の違い・大切なからだ <パネルシアター>	
		5～6歳	11:00～12:00	自分も大切、みんなも大切 <からだを動かすゲーム>	

※30分前より受付開始

参加費：無料

福山平成大学 助産学専攻科 若井 和子（研究代表者）

問い合わせ先：084-972-5001（代表）・2745（内線）

(大学連携)

グローバル人材育成事業

びんご圏域連携グローバル人材育成事業 (H28～)

「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」

■平成 29 年度事業内容



本講座は、地元企業の協力のもと、備後地域（広島県東部）にある4大学が連携し、グローバル人材育成をねらいとした、大学生および社会人向け実践的講座です。

本講座で修得した国際経営理論や知識と、海外研修との相乗効果によって、真に国際ビジネスで活躍できる人材を育成し、備後地域に供給することが目的です。

※本事業は、平成25～27年度の3年間実施した、広島県補助事業「大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業」を、福山市を中心とした備後圏域連携中枢都市の取り組みとして、ほぼ同様の内容で実施するものです。

連携大学：福山大学、尾道市立大学、福山平成大学、福山市立大学

受講対象者：学生 | 連携4大学に在籍する学生

一般 | 備後圏域の6市2町(※)に在住もしくは勤務されている方

※広島県福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町、
岡山県笠岡市、井原市

講義日程：2017年9月30日(土)～11月18日(土) 毎週土曜日9時～12時 全15回

講義内容：「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」というテーマで、

経営の国際展開の理論と、実際に海外に事業展開をしている
備後地域企業の実務担当者のケーススタディを予定。

定員：大学生 50 名、社会人 20 名 程度

受講料：無料

備考：講座終了後、希望者のみ海外研修（東南アジア・12月中旬頃予定）を行います。
また、海外研修費の約半額補助もあります。
（※学生優先、希望者多数の場合は抽選）

会場：学校法人福山大学 宮地茂記念館（JR 福山駅北口正面）

※無料駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■平成 29 年度講義内容

講義・海外研修レポート（H29）

■講義日程

		9:00~10:30 (90分)		10:40~12:10 (40分+質疑応答 50分)
9/30 (土)	第1回	【国際経営の基礎知識】 ★ 大阪商業大学総合経営学部経営学科 教授 梅野 巨利	第2回	【ケーススタディ1】 株式会社広島銀行 国際営業部国際営業室長 廣本 英
10/7 (土)	第3回	【地場産業地域における企業の海外進出と産地構造の変化】 福山市立大学都市経営学部都市経営学科 講師 塚本 僚平	第4回	【ケーススタディ2】 株式会社シギヤ精機製作所 総務部次長 高橋 宗信
10/14 (土)	第5回	【中小企業の海外進出】 福山大学経済学部税務会計学科 教授 中沢 孝夫	第6回	【ケーススタディ3】 (株)北川鉄工所 素形材事業本部素形材事業部下川辺工場調達課係長 小坂 和彦
10/21 (土)	第7回	【国際経営の組織と人事】 ★ 大阪商業大学総合経営学部経営学科 教授 梅野 巨利	第8回	【ケーススタディ4】 早川ゴム(株) 技術本部生産技術グループ課長 末永 攻治

10/28 (土)	第9回	【グローバル・バリューチェーン:モノの貿易から価値の貿易へ】 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 上席主任調査研究員 猪俣 哲史	第10回	【ケーススタディ5】 ホーコス株式会社 専務取締役 唐木 俊夫
11/4 (土)	第11回	【海外で働くということ】 尾道市立大学経済情報学部経済情報学科 教授 小川 長	第12回	【ケーススタディ6】 リョービ株式会社 人事・総務部人事担当部長 金子 慶太
11/11 (土)	第13回	【国際人的資源管理】 福山平成大学経営学部経営学科 教授 小玉 一樹	第14回	【ケーススタディ7】 株式会社サンエス 管理本部人材開発部次長 石山 晶
11/18 (土)	第15回	【ケーススタディ8】 佐藤産業株式会社 代表取締役社長 佐藤 友彦	★ 梅野教授の講義(9/30, 10/21)では、グループディスカッションを実施	
海外現地研修(タイ バンコク・パタヤ) : 2017年12月10日(日) ~ 12月17日(日) 7泊8日				

参加状況：経営学部から3名の参加

■平成28年度事業内容

本講座は、地元企業の協力のもと、備後地域(広島県東部)にある4大学が連携し、グローバル人材育成をねらいとした、大学生および社会人向け実践的講座です。

本講座で修得した国際経営理論や知識と、海外研修との相乗効果によって、真に国際ビジネスで活躍できる人材を育成し、備後地域に供給することが目的です。

※本事業は、平成25~27年度の3年間実施した、広島県補助事業「大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業」を、福山市を中心とした備後圏域連携中枢都市の取り組みとして、ほぼ同様の内容で実施するものです。

連携大学：福山大学、尾道市立大学、福山平成大学、福山市立大学

受講対象者：学生 | 連携 4 大学に在籍する学生

一般 | 備後圏域の 6 市 2 町 (※) に在住もしくは勤務されている方

※広島県福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市、井原市

講義日程：2016 年 10 月 1 日 (土) ~11 月 19 日 (土) 毎週土曜日 9 時~12 時 全 15 回

講義内容：「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」というテーマで、
経営の国際展開の理論と、実際に海外に事業展開をしている
備後地域企業の実務担当者のケーススタディを予定。

定員：大学生 50 名、社会人 20 名 程度

受講料：無料

備考：講座終了後、希望者のみ海外研修 (タイ・12 月中旬頃予定) を行います。

また、海外研修費の約半額補助もあります。

(※学生優先、希望者多数の場合は抽選)

会場：学校法人福山大学 宮地茂記念館 (JR 福山駅北口正面)

参加状況：経営学部・福祉健康学部から 3 名の参加

■講義日程

	9:00~10:30 (90 分)		10:40~12:10 (40 分+質疑応答 50 分)
10/1 (土)	第 1 回 【多国籍企業の成立】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 梅野 巨利 先生	第 2 回	【ケーススタディ 1】 株式会社広島銀行 国際営業室シニアマネージャー 佐藤 憲彦 氏
10/8 (土)	第 3 回 【グローバルバリューチェーン の分析】 福山大学経済学部国際経済学科 教授 萩野 覚 先生	第 4 回	【ケーススタディ 2】 株式会社北川鉄工所 素形材事業部技術部部長 種延 隆 氏
10/15 (土)	第 5 回 【国際経営組織】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 梅野 巨利 先生	第 6 回	【ケーススタディ 3】 株式会社シギヤ精機製作所 営業統括本部次長 小林 浩 氏
10/22 (土)	第 7 回 【中小企業の海外進出】 福山大学経済学部税務会計学科 教授 中沢 孝夫 先生	第 8 回	【ケーススタディ 4】 佐藤産業株式会社 代表取締役社長 佐藤 友彦 氏
10/29 (土)	第 9 回 【海外現地経営】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科	第 10 回	【ケーススタディ 5】 ホーコス株式会社

		教授 梅野 巨利 先生		専務取締役 唐木 俊夫 氏
11/5 (土)	第 11 回	【グローバルマーケティング】 神戸大学大学院経営学研究科 教授 黄 磷 先生	第 12 回	【ケーススタディ 6】 株式会社キャステム 代表取締役社長 戸田 拓夫 氏
11/12 (土)	第 13 回	【国際経営戦略】 東京大学大学院経済学研究科 教授 新宅 純二郎 先生	第 14 回	【ケーススタディ 7】 早川ゴム株式会社 生産技術グループグループリーダー 末永 攻治 氏
11/19 (土)	第 15 回	【ケーススタディ 8】 リョービ株式会社 人事・総務部人事担当副部長 金子 慶太 氏	★ 梅野教授の講義 (10/1, 10/15, 10/29) では、 グループディスカッションを実施	

2018 年 2 月 5 日 (月)

海外留学制度「トビタテ留学 JAPAN」募集開始



1 月 31 日 (水)、福山市役所において、文部科学省高等教育局学生・留学課の小形課長補佐から枝広福山市長に文科省事業「トビタテ留学 JAPAN」の採択書が授与されました。福山の 3 大学からそれぞれの代表が参加し、福山平成大学からは坪井学長と経営学科の渡辺教授が出席しました。この事業は福山市が産学と連携して文科省に申請したもので、福山市在住または福山市内の大学に在籍する学生を対象にした、1 か月～6 か月の海外留学と企業研修を合わせた制度です。福山平成大学でもこの制度を利用して本学学生が海外研修の経験を積めるように積極的に応援していきます。本制度の詳細は、下記の福山市役所の HP サイトをご覧ください。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/machidukuri-soumu/110458.html>

2 月 16 日 (金) の午後 1 時半からエフピコ RiM の 9 階スカイホールにおいて、福山市主催の募集説明会がありますので、この制度に限らず、海外研修に興味のある人はぜひ参加してください。「トビタテ留学

JAPAN」の福山平成大学の担当は、経営学科の渡辺清美教授です。関心のある人、質問のある人は2号館6階の渡辺研究室（2616）をおたずねください。

7月22日（日）、福山市役所において「トビタテ！留学 JAPAN」の壮行会が開かれました。会には今回選ばれた10名の大学生のほかに、福山市、協賛企業、福山市内の3大学から多くの方々が出席しました。本学から選ばれた水田悠介さん（健康スポーツ学科4年）と岡崎菜々子さん（経営学科3年）をはじめとして、総勢10名の大学生がそれぞれの留学計画をプレゼンしました。協賛企業の代表の方々からは、プレゼンテーションに対して質問、そして、暖かな激励の言葉をかけられました。水田さんと岡崎さんは、期末試験を終えた後、協賛企業での事前研修、そして全国から選ばれた学生が集まって東京で行われる一泊二日の事前研修を行うという超過密スケジュールの中、8月中旬にはデンマークとニュージーランドにそれぞれ向かい、留学と研修を始めます。

6 大学エクステンション連携会議事業

(尾道市立大学、県立広島大学、福山大学、福山平成大学、福山職業能力開発短期大学校、福山市立大学)

備後
Bingo vol.4 2017年度 9-2月講座

大学連携講座

theme
テーマ | 備後で知る・考える・創造する

地域に開かれた大学の役割として、公開講座開催などのアウトリーチ活動の重要性が指摘されています。それは単に知識の伝達だけでなく、大学が地域の抱える問題の解決のために、直接市民のみなさんの声に耳を傾ける場でもあります。そのため備後地域の大学が連携し、各大学の公開講座の情報を集約して発信していくことにしました。

福山平成大学

福山大学

福山職業能力開発短期大学校

県立広島大学 (三原キャンパス)

尾道市立大学

福山市立大学

Managura Sta.
Matsunaga Sta.
Fukuyama Sta.
Onomichi Sta.
Mihara Sta.

主催：6 大学エクステンション連携会議
後援：備後圏域連携協議会

2017年度 6大学エクステンション連携講座一覧（9月～2月）

9月開講

講座番号	講座名	講師	内容	日時など	場所
1	尾道文学談話会	オムニバス形式のため、毎回異なります。	尾道市立大学日本文学科を中心とした教員が、文学や言葉にかかわる様々な話題を提供し、市民の皆様と談話形式で講義を行う公開講座です。	9/4, 10/2, 11/6, 1/19, 2/5, 3/5 (1/19(金)以外すべて月曜日) 18:30～20:00	尾道市立大学 サテライトスタジオ
2	我が国のメンタルトレーニングの流れ	福山平成大学福祉健康学部 健康スポーツ科学科 教授 楠本 恭久	スポーツ心理学の一領域であるメンタルトレーニングの歴史的経過を分かりやすく説明した上で、我が国のメンタルトレーニングの理想的な有り様について、私の具体的な実践をふまえて話したいと思います。	9/14(木) 18:30～20:00 参加料無料	福山平成大学 7号館大講義室
3	福山大学公開講座 統一テーマ 「何もないとはい言わせない！」	第1回福山大学 経済学部 経済学科 助教 中村 和裕	平成26～28年度は、「ひと・まち・くらし」をテーマに、福山大学が地域と連携した様々なプロジェクト活動を紹介し、非常に好評でした。今年度は、福山市が魅力発信を目的に掲げるキャッチフレーズの「何もないとはい言わせない！」を統一テーマとして、福山大学の研究者が日々の研究活動のなかで発見している備後圏域の様々な魅力や資源を、多角的観点から新たな研究成果やトピックスを交えながら分かりやすく紹介・解説いたします。	9/16～10/21(9/23を除く) 全5回 毎回土曜日 14:00～15:30 参加無料 先着 250人 申込受付8/1～	福山大学 三原市中央公民館
		第2回福山大学 薬学部 薬学科 教授 石津 隆 第3回福山大学 工学部 建築学科 教授 佐藤 圭一 第4回福山大学 人間文化学部 メディア・映像学科 教授 安田 暁 第5回福山大学 生命工学部 生物工学科 講師 吉崎 隆之		第1回「まちの課題にスポーツができること」 第2回「身近に迫る危険ドラッグに対する知識」 第3回「絶滅の危機に瀕する備後蘭草と「備後表」」 第4回「なににもない(?)ところになにかをつくるためにーアートの事例からー」 第5回「福山をワインの街に！ ～福山大学ワインプロジェクト～」	
4	「フィンランドのネウボラシステムと日本版への学び」	マリア・コッコ フィンランド大使館 報道・文化担当参事官 マルコス・コッコ ナビゲーター 福山市立大学 教授 正保 正恵	ネウボラとは、フィンランドで1920年代に始まった子育て支援拠点。フィンランドにおいて改良を重ね実施されてきているネウボラのシステムと5月に第2子が誕生したコッコ家族のネウボラ体験を交えて話します。 また、本年4月に福山版ネウボラが12か所設置され、日本への導入の際学がべき基本を解説します。	9/16(土) 13:30～15:30 参加無料 先着 200人 申込受付8/1～	福山市立大学 講義室
5	「教室空間」と「学習スタイル」の歴史	福山平成大学福祉健康学部 こども学科 教授 山崎 洋子	学校という場とそのシステム(設備、方法、制度)を考察するため、教室という空間(教室空間)と、そこで営まれる「教えー学び」関係を規定する「学習スタイル」に着目し、それらの変遷過程と歴史的ダイナミズムについて解説します。	9/21(木) 18:30～20:00 参加料無料	福山平成大学 7号館大講義室
6	子どもの夜間受診の過去・未来	福山平成大学看護学部 看護学科 講師 佐竹 潤子	我が国は、少子高齢化が進み、子どもと接した経験のないまま親になる人が増えています。そのため、親の夜間受診行動にも変化がみられます。子どもを取り巻く社会背景や政策の動向、夜間受診の現状と親の対処能力について話をします。	9/28(木) 18:30～20:00 参加料無料	福山平成大学 7号館大講義室
7	地域包括ケアにおける専門職連携と地域への働きかけ ※1	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 助教 湯川 順子 他	地域包括ケアシステムの構築が課題になる中、対人援助専門職には個別支援における他職種との連携に加え、地域住民との連携も求められています。本講座では、医療と介護の連携、地域との連携についての現状と課題について解説し、連携による支援の展開について、演習や事例検討を通して体験的に学ぶことで、対人援助専門職のスキルアップを目指します。	9/29(金) 13:00～16:10 9/30(土) 9:20～16:40 先着 35名 受講料 6,200円	県立広島大学 三原キャンパス

2017年度 6大学エクステンション連携講座一覧（9月～2月）

10月開講

講座番号	講座名	講師	内容	日時など	場所
8	鉄の強さについて目で見て体験して学ぼう	福山職業能力開発短期大学校 生産技術科 教授 木崎 俊郎	車や家電製品など、身の周りの多くの製品には鉄が使われています。何気なく使っている製品の材料である鉄の強さはどのくらいあるのか、試験機を使い大きな力で鉄の棒を引張って破壊し、強さの測定を体験、観察します。	10/1（日） 14:00～15:30 参加無料 対象者:高校生以上 (定員 20名 先着順)	福山職業能力開発短期大学校
9	教養講座	オムニバス形式のため、毎回異なります。	尾道市立大学は地域に開かれた大学を目指し、教育研究活動の一端を地域に還元することを目的として、毎年秋に全6回にわたり経済情報学科、日本文学科、美術学科の教員による、各専門分野に基づくテーマでの公開講座「教養講座」を開催しています。	10/4, 10/11, 10/18, 10/25, 11/1, 11/15 (すべて水曜日) 18:30～20:00	しまなみ交流館 2階 大会議室
10	障害者の権利獲得に関する歴史的変遷とその思想	福山平成大学福祉健康学部 福祉学科 准教授 大深 俊明	戦後日本においては障害者が、地域での共生を目標にさまざまな運動をつづけた歴史があります。あらためて先人たちの歩みと障害者のたどった権利獲得の歴史と思想を見つめなおし、共生にむけたあり方について共に考えてみたいと思います。	10/5（木） 18:30～20:00 参加料無料	福山平成大学 7号館大講義室
11	紙飛行機で“ものづくり”の考え方を学ぼう	福山職業能力開発短期大学校 電気エネルギー制御科 准教授 羽原 由雄	私たちの身のまわりにはたくさんの“もの”があります。これらの“もの”は、どのような考えで作られているのでしょうか。紙飛行機を折りながら、正確にたくさん作る方法を考え、“ものづくり”の考え方を学びましょう。	10/7（土） 13:30～15:00 参加無料 対象者:高校生以上 (定員 24名 先着順)	福山職業能力開発短期大学校
12	ブランドから組立てる地域戦略—消滅可能性都市とされた田舎町の挑戦—	一般社団法人アンテナさくほ 代表 力武 文雄	人口減少により地域間の競争が激しさを増す今、地域の“ブランド力”というものが注目されるようになってきました。商業上の概念だった“ブランド”を私達の地元振興にいかに応用したら良いか、考えてみましょう。	10/7(土) 14:00～15:30 参加無料 先着200人 申込受付9/1～	福山市立大学 講義室
13	中国出世物語—科学の明暗—	福山平成大学経営学部 経営学科 教授 市瀬 信子	中国の「科挙」という官吏登用試験は、紙一枚で多くの人生を左右しました。科学に怒り、喜び、嘆く人間の姿は、文学作品にも登場します。『儒林外史』を始めとする文学作品を通して、改めて科学を見て考えてみたいと思います。	10/12（木） 18:30～20:00 参加料無料	福山平成大学 7号館大講義室
14	子ども虐待の発生要因とその対処プログラム—メンタルヘルスと貧困を焦点に— ※2	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 松宮 透高 他	子ども虐待問題の主要な発生要因として指摘される、世帯の貧困と孤立、親のメンタルヘルス問題。これらは複合して世帯全体を追い詰め、虐待発生のリスクを高めるとされます。しかし、これらの要因に総合的に対応するシステムは未確立で、支援機関連携の体制確立やチームマネジメントの課題が指摘されています。子ども虐待対応機関の専門職はじめ、この問題に関心のある方々とともに、子ども虐待の発生要因と支援連携について、講義と演習を通して考えます。	10/14（土） 10:00～16:00 先着 40名 受講料 3,000円	県立広島大学 サテライトキャンパス ひろしま
15	心と体の健康	作曲家 NHKテレビ体操・ラジオ体操専属 ピアニスト 加藤 由美子	心身ともに健康とは？ NHKテレビ体操・ラジオ体操の制作エピソードをまじえながら、体の健康について一緒に考え、「音楽」や「笑い」が心の健康に大切だということ、生演奏も聴きながら感じてみませんか？	10/21(土) 14:00～15:30 参加無料 先着 200人 申込受付9/1～	福山市立大学 講義室

11月開講

講座番号	講座名	講師	内容	日時など	場所
16	福山大学 生命工学部 <市民フォーラム> 平成29年度 食と健康のライフサイエンス 【食中毒に気を付けよう】	「食品の衛生管理」 福山大学生命工学部 生命栄養科学科 教授（医学博士）菊田 安至 「ノロウイルスの流行を防ごう」 福山市保健所生活衛生課 次長（食品衛生担当、薬剤師）藤井 千香子		11/18（土） 受付13:30～ 14:00～16:00 参加無料 先着 100人	学校法人福山大学 宮地茂記念館
17	古代の海民と北海道	旭川市博物館 館長 瀬川 拓郎	北海道を中心に暮らしたアイヌの歴史をみていくと、西日本を含む本州の古代海民が北海道へ渡海し、大きな影響を及ぼしていた可能性がみえてきます。古代海民とアイヌの交流の実態について考えます。	11/18(土) 14:00～15:30 参加無料 先着 200人 申込受付10/2～	福山市立大学 講義室

2017年度 6大学エクステンション連携講座一覧（9月～2月）

12月開講

講座番号	講座名	講師	内容	日時など	場所
18	冬の夜空の物語	鳥取市さじアストロパーク佐治天文台 台長 香西 洋樹	明るい星が少なかった秋の夜空に比べ冬の夜空には明るい星が多く見られます。全天で20個ある1等星の殆どを見ることができるのです。何故なのを考えてみることにしましょう。オリオンやすばるに代表される、冬の夜空の明るい星達に話を聞いてみましょう。	12/16(土) 14:00～15:30 参加無料 先着200人 申込受付11/1～	福山市立大学 講義室

2018年2月開講

講座番号	講座名	講師	内容	日時など	場所
19	コンピュータ史 —過去から未来へ—	福山職業能力開発短期大学校 電子情報技術科 准教授 仲丸 徹	この講座を通じて、約60年ほどで劇的な進化を果たしたコンピュータとその歴史、日本の関わりについて学びます。さらにハードウェア及びソフトウェアの関係について触れ、そして未来のコンピュータについての予測を紹介いたします。	2/24 (土) 14:00～15:30 参加無料 対象者 高校生以上 (定員 30名 先着順)	福山職業能力開発短期大学校

- ※1 申込受付・・・8月上旬頃～ 対象・・・対人援助専門職
 ※2 申込受付・・・8月中旬頃～ 対象・・・児童福祉・児童相談所・精神科医療機関等に係る方

◆お申込み・お問い合わせは、講座番号を確認のうえ、次の記載されているところへ、ご連絡ください。

講座番号1, 9 尾道市立大学地域総合センター Tel:0848-22-8311 (代)
<http://www.onomichi-u.ac.jp/attributes/topics2014.html/2016061600019/>

講座番号2, 5, 6, 10, 13 福山平成大学庶務課 〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1 Tel:084-972-5001 E-mail:shomu@heisei-u.ac.jp

講座番号7, 14 県立広島大学三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1-1 Tel:0848-60-1200
 E-mail:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

講座番号3 福山大学総務部企画・文書課 〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵 Tel:084-936-2111
 申し込み方法等 ホームページ <http://www.fukuyama-u.ac.jp/research/open-lecture/>

講座番号16 福山大学生命工学部 生命栄養科学科 E-mail:eiyou2008@fubac.fukuyama-u.ac.jp
 申し込み方法等 ホームページ <http://www.fukuyama-u.ac.jp/nutritional-sci/original/entry-2037.html>

講座番号8, 11, 19 福山職業能力開発短期大学校 学務援助課 Tel:084-923-6408 FAX:084-921-7038 E-mail:tandai03@fukuyama-pc.ac.jp
 申込み用紙はHPよりダウンロード <http://www3.jeed.or.jp/hiroshima/college>

講座番号4, 12, 15, 17, 18 福山市立大学教育研究交流センター Tel:084-999-1115 FAX:084-928-1248 E-mail:koryu@fcu.ac.jp
 申込みは、はがき、FAXまたはEメールで

【主催】

- 6大学エクステンション連携会議
 尾道市立大学 (〒722-8506 尾道市久山町1600番地2 Tel:0848-22-8311)
 県立広島大学 (〒723-0053 三原市学園町1-1 Tel:0848-60-1200)
 福山大学 (〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵 Tel:084-936-2111)
 福山平成大学 (〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1 Tel:084-972-5001)
 福山職業能力開発短期大学校 (〒720-0074 福山市北本庄四丁目8-48 Tel:084-923-6408)
 福山市立大学 (〒721-0964 福山市港町二丁目19-1 Tel:084-999-1115)

【後援】

備後圏域連携会議 (広島県福山市・三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町・岡山県笠岡市・井原市)

一般社団法人 教育ネットワーク中国 による高大連携事業

高大連携事業

<28 高校生に大学・短期大学等の講義を提供>

高大連携事業とは、高校と大学との有機的な接続を図ることを目的に、広島県教育委員会、広島市教育委員会、呉市教育委員会、福山市教育委員会、広島県私立中学高等学校協会、広島大学附属高等学校、広島大学附属福山高等学校そして山口県岩国地区の高等学校と協定を結び、当ネットワーク会員の正規授業科目と高校生のために特別に企画された公開講座を広島県内および山口県岩国地区の高等学校生徒に提供するものです。

<2016 年度提供校県内 41 大学>

上記により、つぎのように開催し、高校生 4 人、保証人 2 人、本学関係者合わせて 20 人の参加があった。

公開講座

2016 年度高大連携公開授業・公開講座の実施について

開催日時	学部 学科	科目番号	講義名	担当者
10/22(土) 12:00~14:00	福祉健康学部 健康スポーツ科学科	41201	保健体育教員への道	房前浩二 教授
	看護学部 看護学科	41202	「守りたいあなたと 私の性の健康」	若井和子 教授

●集合場所

福山平成大学 2号館ロビー (11:30 までに集合)

●会場アクセス

JR～スクールバス利用

- ・ JR 福山駅より JR 福塩線に乗り換え「神辺 (かんなべ) 駅」下車、東口よりスクールバス運行約 10 分

(大学祭期間中につき、バス運行時刻が変更になる場合があります。後日ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。)

- ・ JR 万能倉駅より徒歩 15 分

バス利用

- ・ JR 福山駅南口より、中国バス「中国中央病院方面行」に乗車、所要時間約 25 分

高速バス利用

- ・ 広島市内より高速バス「リードライナー」が大学前まで運行、所要時間約 1 時間 50 分

●所在地

広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1 福山平成大学内

平成 28 年度 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

1. 主催 一般社団法人教育ネットワーク中国
2. 後援 庄原市教育委員会・三次市教育委員会・安芸高田市教育委員会
広島県公立高等学校長協会三次支部校長会
庄原市中学校長会・三次市中学校長会・安芸高田市中学校長会

3. 開講講座内容

(三次会場:三次高等学校) 平成 28 年 7 月 22 日(金) 当日参加者 48 名

・担当講師 看護学部 看護学科 木宮高代教授

テーマ 認知症のある高齢者の理解を深め、高齢者への思いやりや心づかい、心のケアを学

内容 高齢社会にあつて、高齢者の身体的な老化現象、健康障害、老いに向き合う老年期の心理、高齢者の生活などの理解を深める。特に認知症のある高齢者の特徴を知り、高齢者への思いやりや心づかい、心のケアについて考える。

(庄原会場:庄原実業高等学校) 平成 28 年 7 月 16 日(土) 当日参加者 14 名

・担当講師 福祉健康学部 こども学科 伊藤憲孝准教授

テーマ 世界に一つだけの物語 ～言葉×音～

内容 「世界に一つだけの物語」を、即興で講座受講者と作りあげます。あなたが広げた想像の翼は、いったいどんな物語として展開していくのでしょうか。現実には有り得ないことが、物語ではおきてしまうかも・・・
完成した物語は、私が即興でつけた音楽と合わせて聴いてみたいと思います。言葉と音で新しい世界を一緒に紡ぎましょう。

(庄原会場：庄原格致高等学校) 平成 29 年 7 月 8 日(土) 当日参加者 25 名

担当講師 福祉健康学部 福祉学科 准教授 氏名 伊藤泰三

テーマ 「お金が無い！に定める支援制度」

内容

現在は特に問題なく生活ができていても、家族の突然の病気、リストラなどで収入が無くなり、生活が苦しくなることがあります。この講座では年金の制度や生活保護の制度について説明し、「お金が無い！」問題に対して国がどのような仕組みで支援をしているかを学びます。

外国大学との連携協定（外国大学での語学研修等）

●語学研修の単位認定について

本学では、夏季休業期間中に行う、協定校 UCR(アメリカ合衆国 カリフォルニア大学リバーサイド校)における集中英語コースにおいて一定以上の成績で修了した者には、「英会話(集中英語研修)」の4単位が認定されます

●語学研修プログラムについて（2015年度実績）

研修詳細

- ・研修先：カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR) (アメリカ合衆国・学術教育研究協定校)
- ・コース：a) Intensive English Program(語学力不問)
b) English for International Business(TOEFL PBT 500/iBT61以上)
- ・期間：平成27年8月2日(日)～平成27年8月30日(日)
- ・費用：約64万円[航空券・燃油サーチャージ代、授業料(15%減免)、ホームステイ費用、VISA取得手続き代含む]
*その他空港往復旅費、現地ツアー(自由参加)代、テキスト代等必要。
*為替レート変動等による費用変動有。
- ・奨学金制度有り
- ・単位認定：有(学生便覧参照)
- ・定員：20名(最少推行人数：5名)
- ・スケジュール

2015年度夏季集中英語研修

5月	7日(木) 申込締切 8日(金) ビザ取得等の説明会(旅行代理店) 9日(土) クラス分けテスト 25日(月) 最終説明会(旅行代理店)
6月	上旬 事前学習(日程調整)
7月	2日(日) 出発 30日(日) 帰国
8月	19日(月) 帰国報告会

●H29 留学生数及び海外派遣学生数

(留学生数)

- ・経営学部経営学科 6人 (中国6人)

(海外派遣)

- ・びんご圏域連携グローバル人材育成事業に伴う派遣 (タイ)
派遣学生数3人 (経営学科2、福祉学科1)
- ・アスレチック・トレーナー研修に伴う派遣 (オーストラリア)
派遣学生数6人 (健康スポーツ科学科6人)
- ・グローバル人材育成に伴う研修 (ホノルル)
派遣学生数7人 (経営学科7人)
- ・養護教諭海外事例研究 (韓国)
派遣学生数6人 (健康スポーツ科学科6人)

●本学独自の高大連携事業

平成29年度 出張講義派遣状況リスト

	高校	学科	学年	人数
7月3日	盈進高等学校	福祉学科	1,2年	15
		福祉学科	1,2年	20
10月11日	芦品まなび高等学校	こども学科	2年	13
10月25日	福山高等学校	健康スポーツ科学科	1,2年	41
		看護学科	1,2年	18
12月9日	尾道北高等学校	看護学科	1,2年	65
2月13日	三次青陵高等学校	こども学科	2年	79
2月27日	大東高等学校	健康スポーツ科学科	運動部に所属する生徒	152
3月14日	大社高等学校	健康スポーツ科学科	体育科 1,2年	80
合計				483

平成29年度に、島根県・岡山県・広島県の高等学校32校と教育に関する交流協定を新たに締結した。

高大連携協定事業の締結について

福山平成大学は、今年で23年目を迎える比較的歴史の浅い大学ですが、この間、本学は大学教育改革をはじめとした教育界の動向を見定めながら、地元住民から信頼され、地元に対する貢献度の高い大学づくりに取り組んできています。

現在、教育改革の中心的テーマのひとつである大学入学者選抜については、高校教育と大学教育を一体的に改革していく方向が強く打ち出されており、本学も地元の高校の協力を得ながら、出張講義、大学見学、模擬授業、出前授業、進学ガイダンス等により、高校教育と大学教育の連続性を図る取組みを進めています。

これらの取組みを踏まえ、また今年度中にも発表される新しい学習指導要領の方向を見定めながら、さらなる連携の充実を期し、周辺高校との協定書の締結に向けての動きを始めています。

本学と地元高校がともに協力し合って確かな学力と実践力をもった生徒を育て、社会に送り出していくための連携協力の基本的な事項を定め、両者の様々な分野での具体的な協力実践のスムーズな展開を可能とすることを目指しています。

現在、大学入学者選抜の改革については高校教育と大学教育を接続する大学入学者選抜を一体的に改革することで高大接続改革として検討されていますが、このような時期の中、本学では、高校教育で培った力をさらに向上・発展させ社会に送り出すための大学教育としての高大接続、高大連携を進め高校と本学の教育内容を中心にして教育情報の交流をより充実させるため、高大連携協定の締結を進め計画しました。

(連携協力する事項)

- (1) 大学の各種公開講座への受け入れ
- (2) 大学教員による出張講義・模擬授業等
- (3) 教育についての情報交換及び交流
- (4) その他、これらの目的を達成するために相互が必要と認めたこと

以上、連携協力の具体的内容については、両者協議のうえ、決定し、実施する。

なお、連携協力の交流協定書(様式)については次の通りとし、島根県、岡山県、広島県から32校にて連携協定を締結した。

福山平成大学と〇〇〇〇〇〇〇高等学校との間における
教育に関する交流協定書

〇〇〇立〇〇〇〇高等学校（以下「甲」という）と福山平成大学（以下「乙」という）は、以下の連携協力に関する事項について協定を締結する。

（目的）

第1条 甲及び乙は、連携協力を通じて互いの教育等の活性化に資することを目的とする。

（連携協力する事項）

第2条 前条の目的を達成するため、甲と乙は、相互の信頼関係に基づき、双方の教育機能について交流・連携を行うこととし、活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 大学の各種公開講座への受け入れ
- (2) 大学教員による出張講義・模擬授業等
- (3) 教育についての情報交換及び交流
- (4) その他、これらの目的を達成するために相互が必要と認めたこと

2 連携協力の具体的内容については、甲乙両者協議のうえ、決定し、実施する。

（協定の有効期間）

第3条 本協定の有効期間は、本協定の締結日から2020年3月31日までとする。

但し、当該有効期間満了の1ヵ月前までに甲または乙から本協定を更新しない旨の書面による通知があった場合を除き、本協定は1年間更新され、その後も同様とする。

（その他）

第4条 本協定に関して協議が必要な事項が発生した場合には、その都度協議し、解決を図るものとする。

以上のとおり協定を締結したことを証するため、本協定書を2通作成し、甲と乙が記名・捺印して、各自がその1通を所有する。

2017年(平成29年) 月 日

甲 〇〇〇〇〇〇〇高等学校
校長 〇〇〇〇〇〇

乙 福山平成大学
学長 坪井 始

経営学科 社会連携事業について（前年度実績）

1. 全国信用組合中央協会・両備信用組合との「産学連携に関する協定」

【目的】

全国信用組合・両備信用組合との連携を密にして、学生のキャリア教育の中で信用組合の位置付けを明確にするとともに、福山平成大学の地域貢献・地域連携事業の一貫として地元貢献を図る。

【連携事業】

- ・3年次講義科目「インターンシップ」の中で、学生を両備信用組合へ派遣
（平成29年度は1名参加）
- ・「地域企業の地域金融の仕組みー信用組合の役割を中心としてー」など連携講義を順次計画
- ・講演会、講習会の共同開催等、その他の連携事業を展開予定

2. 株式会社フレスタとの連携協定

【目的】

本学と株式会社フレスタは「産」と「学」の連携をより強固にし、地域との連携をはじめとする教育・研究の発展を目指すため産学連携協定を締結するものである。

【連携・協力事項】

1. 教育・研究に関する事項

- （1）問題発見・解決型学習の協同開催 ※平成29年度後期授業として実施予定
- （2）経営分野における共同研究

2. 人材育成に関する事項

- （1）就職活動に関する支援
- （2）インターンシップに関する支援

3. 地域貢献に関する事項

株式会社フレスタは食や健康をテーマとした地域貢献活動を行っており、同社と連携することによってスポーツ分野や健康関連分野での地域貢献を図る。

この協定により、地域との連携と社会の発展のため、産学の新しい関係構築する。

3. びんご圏域連携グローバル人材育成事業

（詳細 →<http://www.heisei-u.ac.jp/img/faculty/ba/H28flyer.pdf>）

【目的】

福山市の補助、地元企業の協力のもと、備後地域にある4大学（福山平成大学、福山大学、福山市立大、尾道市立大学）が連携し、グローバル人材育成をねらいとした様々なプログラムを実施。

【連携事業】

- ・連携大学の学生、及び備後圏域在住、勤務の社会人を対象とした公開講座を、上記4大学共同で実施。（平成29年度）
- ・経営学部を中心に4名の学生が、8日間の日程でタイ王国への海外研修に参加。現地に進出している備後地域の企業の営業所・工場などを視察（平成29年度）

※平成30年度は12月に同じくタイへの海外研修を予定

福祉健康学部 福祉学科 社会連携事業について（前年度実績）

1・平成29年度 ボランティア実績

- 4月 福山六法学園祭（創樹祭）
- 5月 社会福祉法人松風会 松風園祭（加茂町） 、御幸町正戸ばらまつり（御幸町）
- 6月 九州北部豪雨災害緊急支援募金活動
- 7月 幼稚園夏祭り、献血の呼びかけ活動
- 9月 御幸学区敬老会 各種秋祭り
- 10月 福山平成大学学園祭（災害復興チャリティーバザー）
- 11月 みゆきフェスタ
- 12月 北部市民フェスティバルに参加（運営スタッフ、バルーン）
- 3月 北部・東部市民フェスティバル
小学校における薬物乱用防止教室への参加
隔月で認知症カフェへの参加

参加学生数 60名

概要：

福祉学科学生らが地域貢献、社会連携としてボランティア活動に参加している。

内容は募金活動、清掃活動、各地域の祭りや手伝い、司会、行事余興の開催、学習支援、立ち直り支援、薬物乱用防止教室、各種啓発活動などさまざまである。

上記に加えて、途上国の子どもたちにワクチンを送付するためペットボトルの蓋回収をしている。また、発展途上国の国々の里親になり、手紙のやり取りを通じながら国際福祉の学びにもつなげている。

2. 平大認知症カフェ

- 第4回 2017年4月15日（土）参加者数 60人
- 第5回 2017年6月10日（土）参加者数 91人
- 第6回 2017年8月5日（土）参加者数 61人
- 第7回 2017年10月14日（土）参加者数 163人（1周年記念で認知症当事者が講演）
- 第8回 2017年12月2日（土）参加者数 63人
- 第9回 2017年2月17日（土）参加者数 62人

概要

・御幸町の自治会などの住民団体と介護事業所や福山市地域包括支援センターの専門職、本学福祉学科教員で平大認知症カフェ連絡協議会を結成し、認知症カフェ（認知症サポーター養成講座を中心においた学

ぶカフェ)の実施を2016年年10月から開始した。2ヶ月に1回の開催である。

- ・大学内で認知症カフェを行う取り組みは全国で2番目である。
- ・参加者は御幸町住民、他の地域からの一般市民、認知症当事者、介護家族、専門職(保健師、看護師、介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、医師)、学生、教員らである。
- ・第7回次は1周年を記念して認知症当事者である竹内裕さんをお招きし「平大認知症カフェ 一周年記念講演」を開催し、県外からの参加も含めて163人の聴衆があった。

福祉健康学部 健康スポーツ科学科 社会連携事業について (前年度実績)

(事業内容 日程 場所 担当教員名 参加者数 概要)

1・府中B&G海洋センターとの協力事業

- ①4月13日(水)、②7月20日(水)、③8月10日(水)、④11月16日(水)、⑤12月14日(水)
- ⑥3月15日(水)・・・全日程10:30~12:00

・本学生体機能行動科学分析室

石橋勇教授 武田守弘教授 石井智紋助手

各33名参加

府中B&G海洋センターが主催するB!NGO元気もりもり体操プログラム受講者の体力測定

2・府中市水泳強化指定選手の体力測定

8月10日(水)9:30~15:00

・本学体育館

武田守弘教授 石井智紋助手

10名

本学教員(2名)による中高生アスリートの体力測定を実施

3・府中学びフェスタ

(府中学びフェスタ実行委員会主催)への参加

10月29日(土)10:30~15:00

10月30日(日)10:00~15:00

府中ウッドアリーナ

武田守弘教授 中村雅子准教授 森澤桂准教授

・29日約100名、・30日約60名

29日:本学教員(2名)「ストレスチェック」(口腔内アミラーゼ活性測定とストレスを軽減するための簡単なアドバイス)

30日:本学教員・陸上部の学生(4名)「スポーツ教室 走り方の基本 これだけでかけっこが速くなる」(小中学生を対象にした、ウォーミングアップや走り方の指導)

看護学部 看護学科 社会連携事業について (H29年度実績)

・平成29年度については、市民向け健康増進の支援に関する公開講座の開催や看護職員向け講座、看護研究の継続研究指導を実施した。その他、ボランティア活動として毎年看護学科1年生が全員福山バラ祭りに、2年生がじばさんフェア等に参加し地域貢献をしている。

平成29年度 地域交流センター事業 看護学部

1. 地域住民向け講座 参加人数延べ128名

実施日	タイトル	参加者数
6月28日	転倒予防について	17
7月26日	あなたの体、血管は大丈夫ですか？ ～減塩食・低脂肪食の秘訣～	16
8月23日	健康寿命を延ばすために大切な骨密度 ～あなたの骨は強い？もろい？～	20
9月27日	看護学生になってみよう！	12
10月7日	健康教育	7
10月25日	退院後の生活に役立つ知識	11
11月29日	孫育て ～子どもの遊び～	10
12月2日	心の健康	13
平成30年1月24日	回想法で若返り	9
2月21日	しなやかな身体をつくりましょう	13

2. 看護専門職向け事業

実施日	タイトル	参加者数
6月15日	看護研究Ⅰ 研究の基礎	47
6月29日	看護研究Ⅱ 量的研究の基礎	42
7月13日	看護研究Ⅲ 質的研究の基礎	34

3. 看護研究1年目継続研究・・・1名 4回指導

H29 科研費「幼児期から親子で始める性教育」参加者状況(人)

(科研番号 JSPS 科研費 JP26670998)

5月28日		6月18日		7月30日	
3-4歳児	5-6歳児	3-4歳児	5-6歳児	3-4歳児	5-6歳児
11組	5組	5組	2組	7組	2組

以上

V30-1-501